

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																								
	独自の指標①	乳児健診受診率	実績（値）	95.5%																								
	独自の指標②	幼児健診受診率	実績（値）	89.7%																								
	独自の指標③		実績（値）																									
●事業の分析（評価の根拠・理由）																												
<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、上牧町歯科保健会議（年1回）、上牧町医師会会議（年1回）については、書面報告となりましたが、情報共有や説明を実施し、医療機関等との連携を図ることができました。ペカサフェスタは中止となりましたが、町医による健康講座の開催（1回）を実施することができました。令和2年3月・4月の乳幼児健診が新型コロナウイルス感染症対策のため延期となりましたが、医師会・歯科医師会との相談・協力により、当初予定通りの回数（3・10か月児健診：11回、1歳8か月児健診：5回、2歳児歯科検診：5回、3歳児健診：6回）を実施することができました。</p> <p>健（検）診当日について、医師会との連携を図りながら消毒換気の徹底、事前問診及び計測の実施による健（検）診当日の滞在時間の短縮、少人数での案内時間を設定し一方向の流れを徹底しました。また、歯科医師会と協議し、飛沫による感染リスクが高い2歳児歯科検診でのフッ素塗布を中止しました。</p> <p>新型コロナワクチン接種の実施にあたり、医師会と連携し、実施方法や実施体制等について討議を重ねました。</p>																												
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																												
<p style="text-align: center;">【健診受診率】</p> <p style="text-align: right;">（単位：％）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児健康診査</td> <td>98.4</td> <td>96.5</td> <td>94.6</td> </tr> <tr> <td>10か月児健康診査</td> <td>94.3</td> <td>97.2</td> <td>97.6</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児健康診査</td> <td>92.2</td> <td>95.9</td> <td>91.7</td> </tr> <tr> <td>3歳児健康診査</td> <td>88.8</td> <td>94.3</td> <td>88.2</td> </tr> <tr> <td>2歳児歯科検診</td> <td>78.0</td> <td>77.5</td> <td>77.7</td> </tr> </tbody> </table>						H30	R01	R02	3か月児健康診査	98.4	96.5	94.6	10か月児健康診査	94.3	97.2	97.6	1歳8か月児健康診査	92.2	95.9	91.7	3歳児健康診査	88.8	94.3	88.2	2歳児歯科検診	78.0	77.5	77.7
	H30	R01	R02																									
3か月児健康診査	98.4	96.5	94.6																									
10か月児健康診査	94.3	97.2	97.6																									
1歳8か月児健康診査	92.2	95.9	91.7																									
3歳児健康診査	88.8	94.3	88.2																									
2歳児歯科検診	78.0	77.5	77.7																									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら乳幼児健診、各種検診等実施や、上牧町第2次健康増進計画・食育推進計画の目標達成に向けて、町内医療機関との連携を密に実施していく必要があります。乳幼児健康診査は成長発達等について異常の早期発見の場となるだけでなく、妊娠から継続して育児の悩みや不安を訴えられる場としてのニーズがあります。感染者の動向を注視しながら、受診を遅らせないよう勧奨する必要があります。</p> <p>町民全体の健康意識を高め、予防に取り組むことができるまちづくりを推進するために、町医による健康講座の開催や予防接種、各種検診等で町医師会、歯科医師会、その他関係機関との協力連携が必要不可欠です。</p> <p>また、新型コロナワクチン接種の実施に向けても医師会と連携を図り、感染拡大防止対策を講じた実施を検討していく必要があります。</p>																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、受診率が低下したと考えられます。安心・安全に乳幼児健康診査を受診できるように再度新型コロナウイルス感染症対策方法を検討し、受診勧奨を行う必要があります。</p> <p>乳幼児健診、各種検診等の実施や、上牧町第2次健康増進計画・食育推進計画の目標達成に向けて、町内医療機関との連携を行っていくために、連携会議や連絡・相談等を随時実施していく必要があります。</p> <p>感染者の動向を注視しながら新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策（3密を回避した健診の実施として、消毒換気の徹底、事前問診及び計測の実施による検診当日の滞在時間の短縮、少人数での案内時間の設定等）を引き続き医師会等関係機関と連携を図りながら取り組みます。</p> <p>新型コロナワクチン接種のスムーズな実施に向けて、適宜医師会との連携を図り、実施体制の改善を行っていく必要があります。</p>																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大予防対策（3密を回避した健診の実施として、消毒換気の徹底、事前問診及び計測の実施による検診当日の滞在時間の短縮、少人数での案内時間の設定等）を医師会等関係機関と連携を図りながら取り組みます。コロナ禍においても安心・安全に乳幼児健診を受診できるよう対策を講じ、受診勧奨を行います。</p> <p>新型コロナワクチン接種のスムーズな実施に向けて、適宜医師会との連携を図り、実施体制の改善を行っていく必要があります。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防対策（3密を回避した健診及び事業の実施として、消毒換気の徹底、事前問診及び計測の実施による検診当日の滞在時間の短縮、少人数での案内時間の設定、人数の制限等）を医師会等関係機関と連携を図りながら、乳幼児健診、各種検診等の実施及び上牧町第2次健康増進計画を推進します。また、医師会・歯科医師会との会議や町医師会による町民向けの講演会を開催します。</p> <p>医師会と連携し、住民が安心して新型コロナワクチン接種を受けられる体制を作ります。</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じたワクチン接種の実施（会場設営・人員配置）</p> <p>②希望する住民が、早期にワクチン接種を受けられるための日程・人数の調整</p> <p>上牧町第2次健康増進計画・食育推進計画については、令和3年度が中間評価の年であるため、住民アンケートを実施し評価の結果を住民に周知していきます。</p>					
	指標（予定）	独自	乳児健診受診率	100%		
	独自	幼児健診受診率	98.0%			
	—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	高齢グループの事業の参加者人数	実績（値）	21人
	独自の指標②	成人グループの事業の参加者人数	実績（値）	29人
	独自の指標③	子どもグループの事業の参加者人数	実績（値）	38人
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	高齢グループの2事業が中止となったため、参加者人数は21人と、前年度より減少し、目標を大幅に下回る結果となりました。成人グループも、ウォーキングが中止になったことで、参加者人数は29人と減少しました。しかし、サルコペニアについての講演会では、コロナ禍で運動を中止していたが、家でできる運動を再開しようと思ったなどの意見が聞かれ、参加者への健康意識の向上に貢献する活動ができました。子どもグループ事業は予定通り2回開催し、コロナ禍で人数制限を設けてはいましたが、38人と定員に近い申し込みがあり、住民への周知は広がっていると考えられます。 3グループ間の横のつながりを強めるための親睦会や、パガサフェスタでの3グループ合同であいさつ運動が中止になったため、3グループの連携を図ることができませんでした。 高齢グループ・成人グループにおいては、事業が中止になったため、補助金の返還を行いました。 食育推進計画の推進については、減塩・野菜摂取・バランス食について広報や給食だよりに掲載、各種教室や調理実習・健診等で啓発、スーパーにポスター掲示する等して普及し、少しずつ改善傾向にあります。			
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	○食育推進計画の目標達成推移			
	<p>減塩に気を付ける人の割合</p>		<p>1日の野菜料理の皿数4皿以上の割合</p>	
	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
ニーズの方向性	評価の根拠及び理由 当初の目標である「夢とコミュニケーションいっぱいの上牧町」の実現のために、住民への積極的な周知・活性化を行うことが重要です。そのためには、3グループの連携を強め、推進員と協働し、住民一人ひとりが健康寿命の延伸のため取り組んでいける環境づくりが必要とされています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価 <input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない			
評価の根拠及び理由 新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上で、可能な事業に関しては実施することができました。高齢グループが令和3年度に再編となるため、実行委員の新規募集を行います。また、新体制になるにあたり、事業内容の見直しを図る必要があります。				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） “令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上での実施が求められます。”各事業の定数や実施方法の再検討を行い、住民が健康の意識を持ち健康寿命の延伸に向けて取り組むことのできる事業を計画していきます。また、その実施時期に合わせた周知に取り組んでいきます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため健康上牧21計画推進員総会は書面決議で実施することとします。健康上牧21計画の大目標である「夢とコミュニケーションいっぱいの上牧町」を目指して、令和3年度は、第2次健康増進計画・食育計画の中間評価年であるため、住民アンケートを実施し、令和8年度までの後期計画の見直しを実施します。 3グループの活動・親睦会については、新型コロナウイルスの感染状況を観察しながら、引き続き感染対策を講じた事業の見直しを行い、実施していきます。				
	指標（予定）	独自	高齢グループの事業の参加者人数	80人	
		独自	成人グループの事業の参加者人数	50人	
		独自	子どもグループの事業の参加者人数	40人	
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	子どもグループ実行委員の活動人数（延べ）	実績（値）	10人
	独自の指標②	成人グループ実行委員の活動人数（延べ）	実績（値）	64人
	独自の指標③	高齢グループ実行委員の活動人数（延べ）	実績（値）	68人
●事業の分析（評価の根拠・理由） 新型コロナウイルス感染症の影響で高齢グループの2事業と、成人グループのささゆりウォークが中止となったため、活動も制限されましたが、感染対策についての話し合い等も実施できました。ペガサスフェスタ、3グループ実行委員の親睦交流を目的とした健康上牧21計画推進事業推進委員親睦会については中止となりました。 食生活改善推進員は定例会10回（210人）、男性料理2回（10人）、味噌づくり1回（7人）、歩こう会4回（22人）を実施しました。活動回数は合計18回、延べ人数は202人でした。 がん予防推進員の活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自粛をしましたが、フォローアップ研修を開催し、18人が参加されました。がん経験者からの話を、あらかじめ撮影した映像放映という形で実施し、体験談等からがん検診の大切さを学ぶことができました。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。 令和2年度各グループの実行委員の人数 子どもグループ 12人 成人グループ 17人 高齢グループ 16人 令和2年度がん予防推進員登録者数 32人				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 新型コロナウイルス感染症の影響による自粛生活等で、住民の活動が制限されています。活動が制限されている中でも住民が主体となるボランティアの活動を進めることで、健康の意識を高め、健康寿命の延伸を図り、人とのつながりを作り、仲間同士で予防に取り組むことができる町が求められています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上で、開催を予定しましたが、急遽中止になった事業もありました。引き続き感染対策を講じた活動、取組を検討します。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 健康上牧21計画のボランティアグループ及び食生活改善推進員の取組についても、令和3年度も継続します。自粛していたがん予防推進員の新規養成講座についても、感染対策を講じた実施の方法を検討します。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	食生活改善推進員・がん予防推進員（新規養成講座、フォローアップ講習及び啓発活動）の活動を推進します。健康上牧21計画の高齢グループ実行委員の新規募集を行います。各グループ、感染対策を講じた上で安全に事業を企画、実施します。				
	指標（予定）	独自	子どもグループ実行委員の活動人数（延べ）	70人	
		独自	成人グループ実行委員の活動人数（延べ）	70人	
		独自	高齢グループ実行委員の活動人数（延べ）	70人	
		—			
—					

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	42ページ
担当係	健康増進係	関連部署			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり			
	基本施策	① 保健			
	施策の展開方向	④ 保健事業の充実			
目指す姿	タイトル	健康づくりを促進するまち			
	健康に対する意識を高めるとともに町民一人ひとりが実践でき、健康寿命の延伸を図るために仲間同士で予防に取り組むことができるまちを目指します。				
想定される取組	【受診率向上に向けた情報発信】【受診対象者へ個人通知等のアプローチの推進】【ヘルシー教室の充実】【乳幼児健診後の支援の充実】【成人期から高齢期までの健康づくりの支援の充実】				
令和2年度実施予定	<p>受診率向上に向けた取組（保険年金課と合同）として保健事業の健診・検診受診者にポイントを付与することにより、健康寿命の延伸の実現を目指し、町民一人ひとりが目標を持つことにより健康づくりへの関心を高め、生活習慣病予防を推進します。</p> <p>子宮がん、乳がん検診前にはある特定の年齢に達する方に、はがきによる個別受診勧奨を行います。令和元年度に41歳に達する方に乳がん検診の無料クーポン券を発行、21歳に達する方に子宮頸がん検診の無料クーポン券を発行します。</p> <p>また、大腸がん検診に関しては、40～60歳の5歳刻みの方に個別受診勧奨を行います。</p> <p>集団健診の特定健診とがん検診を同時実施できるようにし、利便性を図ります。レディースデイを設けがん検診と婦人検診を同時に受診できる機会を設けます。</p> <p>健康寿命の延伸の一助として、健康に関する意識や関心を高めていただくために、講演会や生活習慣病関係の教室を開催し、教室終了後も自主グループをつくりウォーキングをしていきます。健康づくりの意識を高め、健康的な生活習慣の定着の支援を行います。</p> <p>がん予防推進員に対し、フォローアップ講座を実施し、がん予防推進員の活動として、啓発・勧奨を実施してもらいます。</p> <p>以下①～⑤の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、安心・安全に健（検）診を実施していきます。</p> <p>①検診時期の検討をします。②1日の受診者の人数制限を実施し、検診回数を増やします。③受付時間を細かく分けることで、密にならないようにします。④検診会場の配置を検討し、会場内の人数を制限します。⑤検診申込時も密にならないように可能であれば電話で申し込みをしてもらいます。</p> <p>ほほ笑い教室で、小集団の中で一人ひとりの発達や特徴に合わせ、遊びを通じて心身の発達や社会性を促す指導及び助言を行う療育プログラムを実施します。</p>				
独自の指標	指標①	ほほ笑い教室利用者の満足度		目標（値）	4.5
総合戦略の取組	13. ほほ笑い教室の開催				

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R02時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R03時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（予算）	
事業費	女性のがん検診（乳がん・子宮がん）	2,577	4,001	4,945	6,289	6,289	
		2,577	4,001	4,945	4,747	6,063	
	胃がん検診	917	1,601	2,137	2,463	2,463	
		917	1,601	2,137	1,679	2,404	
	大腸がん検診	2,564	1,806	1,712	2,069	2,069	
		2,564	1,806	1,712	1,627	1,904	
	肺がん検診	563	495	767	850	850	
	563	495	767	791	750		
その他の検診・教室関係	2,016	2,334	1,493	2,583	2,583		
	2,016	2,334	1,493	1,830	2,916		
合計	(R02時点)	8,637	10,237	11,054	14,254	14,254	5年間累計 58,436
	(R03時点)	8,637	10,237	11,054	10,674	14,037	5年間累計 54,639
令和2年度実施結果	実施状況	①計画通りに実施した					
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)						

※「R02（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
胃がん検診受診率	【35歳以上の男女】	%	(4.4)	2.7 (5.2)	2.3(4.3) 2.2(4.1)	2.6 (5.0)	3.6 (7.0)
大腸がん検診受診率	【40歳以上の男女】	%	(9.6)	5.2 (9.4)	4.0(7.2) 4.5(8.2)	5.6 (10.0)	6.7 (12.0)
肺がん検診受診率	【40歳以上の男女】	%	(5.1)	4.5 (6.8)	4.2(6.4) 3.4(5.1)	4.6 (7.0)	5.3 (8.0)
子宮がん検診受診率	【20歳以上の女性】	%	(15.4)	9.4 (16.4)	5.8(10.1) 7.7(13.1)	9.7 (17.0)	10.8 (19.0)
乳がん検診受診率	【40才以上の女性】	%	(14.3)	13.5 (20.0)	10.1(15.0) 11.4(16.5)	10.8 (16.0)	12.2 (18.0)

※各種検診の受診率については、総合計画策定時から計算方法が変更となっているため、新しい計算方法で算出した数値に置き換えています。なお、参考として旧計算方法で算出した数値は（ ）書きで表記しています。

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった	
	独自の指標①	ほほ笑い教室利用者の満足度		実績（値） 4.7	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>保険年金課と合同で、けんしん60ポイント事業を実施し、受診率の向上を図るとともに健康寿命の延伸の実現を目指し、町民一人ひとりが目標を持つことにより健康づくりへの関心を高め、健康的な生活習慣の定着を推進しました。今年度もポイントを貯めて交換できる景品を3種類準備しました。</p> <p>令和元年度春と秋で実施していた集団検診を、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は春の集団健（検）診を延期し、秋と冬の2回に分けて実施しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら集団健（検）診の特定健診とがん検診を同時実施できるようにし、利便性を図りました。子宮頸がん・乳がん検診前には、はがきや電話による個別受診勧奨を行いました。また、大腸がん検診に対しては5歳刻みの個別受診勧奨を実施しました。各種教室に赴いて、集団検診の申込みの周知・勧奨を行いました。がん検診の案内チラシ等に、地区別のがん検診受診率を掲載し、上牧町の現状を周知することができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、受診を控える方が一定数いたと考えられます。また、集団検診では密にならないように、人数を制限して実施しました。そのため、前年度より5がん検診全て受診率は低下していますが、大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診においては、目標値を達成することができました。</p> <p>健康寿命の延伸の一助として健康に関する意識や関心を高めていただくために、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら講演会や生活習慣病関係の教室を開催し、コロナ禍においても健康づくりの意識を高め健康的な生活習慣の定着の支援を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、がん予防推進員新規養成はできませんでしたが、がん予防推進員のフォローアップ研修には18人の方が参加されました。講演会の参加率は56%でした。</p> <p>ほほ笑い教室参加者の保護者を対象に療育支援教室の評価とアンケートを実施しました。利用者満足度を7項目に渡り5段階評価にて行い、利用されている幼児と保護者の充実感がうかがえました。</p> <p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある	
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>5がん検診全て、受診者数は減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、集団検診では例年より定員を少数にしているの実施となったことも要因の一つと考えられます。また、個別検診では医療機関への受診を控える方が一定数いたと考えられます。そのため集団検診では予約枠が定員いっぱいになり、希望日時での受診ができなかった方もおられることから、関心やニーズは変わらずあると考えられます。引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染対策を講じながら実施する必要があります。</p> <p>ほほ笑い教室については、発達遅滞が疑われる幼児は発達相談や幼児健診にて毎年複数人おり、早期からの療育支援の必要性があります。</p>				
	<p>事業の見直し余地（改善点）</p> <p>評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない</p> <p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大予防対策を踏まえた上で、健（検）診の受診勧奨の方法・機会（特定健診とレディース検診の同日実施）について検討する必要があります。</p> <p>受診率向上に向けて令和2年度の実施状況等を踏まえて、感染症対策を徹底し、安心・安全に検診を受けていただけるような実施方法、さらに受診者数の増加につながる実施方法を検討していく必要があります。</p> <p>がん予防推進員の新規養成講座を実施し、活動を広げていく必要があります。</p> <p>発達相談や健診にて発達が気になる幼児に早期からの療育支援の必要性を伝え、療育支援教室への通級の声かけをし幼児の健やかな育成を図っていきます。</p>				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種事業の円滑な実施のため春検診は実施せず、秋と冬検診として実施します。県と比較して子宮頸がんによる死亡数が多いという現状から、特定健診とレディース検診の同日実施を設定し、女性の方が検診を受診しやすいように、検診の利便性を図ります。</p> <p>がん検診のチラシ配布、がん予防推進員によるがん検診の受診啓発活動等、受診勧奨を実施していきます。</p> <p>一人ひとりの成長に合わせた支援が今後も引き続き必要であり、発達相談や健診にて発達遅滞が疑われる幼児にほほ笑い教室を案内していますが、中には幼児の個性とどうえ通級に至っていない例があります。発達の早期支援の必要性を伝えていますが、少しでも多くの幼児が通級に至るよう引き続き助言を行います。</p>
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>受診率向上に向けた取組（保険年金課と合同）として保健事業の健診・検診受診者にポイントを付与することにより、健康寿命の延伸の実現を目指し、町民一人ひとりが目標を持つことにより健康づくりへの関心を高め、生活習慣病予防を推進します。</p> <p>子宮がん、乳がん検診前にはある特定の年齢に達する方に、はがきによる個別受診勧奨を行います。令和元年度に41歳に達する方に乳がん検診の無料クーポン券を発行、21歳に達する方に子宮頸がん検診の無料クーポン券を発行します。</p> <p>また、大腸がん検診に関しては、40～60歳の5歳刻みの方に個別受診勧奨を行います。</p> <p>集団健診の特定健診とがん検診を同時実施できるようにし、利便性を図ります。特定健診と婦人検診の同時実施及び、骨密度検診も単独実施します。</p> <p>健康寿命の延伸の一助として、健康に関する意識や関心を高めていただくために、講演会や生活習慣病関係の教室を開催し、教室終了後も自主グループをつくりウォーキングをしていきます。健康づくりの意識を高め、健康的な生活習慣の定着の支援を行います。</p> <p>がん予防推進員に対し、フォローアップ講座を実施し、がん予防推進員の活動として、啓発・勧奨を実施してもらいます。</p> <p>以下①～⑤の新型コロナ感染症拡大防止対策を講じて、安心・安全に健（検）診を実施していきます。</p> <p>①検診時期の検討をします。②令和2年度を踏まえ、1日の受診者の人数と検診回数を増やします。③受付時間を細かく分けることで、密にならないようにします。④検診会場の配置を検討し、会場内の人数を制限します。⑤検診申込み時も密にならないように可能であれば電話で申し込みをしてもらいます。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を見ながら感染防止策を十分に行い、安心安全にほほ笑い教室を行います。発達相談や健診にて発達が気になる幼児に早期からの療育支援の必要性を伝え、療育支援教室への通級の声かけを行い、個々に合わせた成長を促していきます。</p>	
指標（予定）	KPI	胃がん検診受診率 2.6 (5.0) %
	KPI	大腸がん検診受診率 5.6 (10.0) %
	KPI	肺がん検診受診率 4.6 (7.0) %
	KPI	子宮がん検診受診率 9.7 (17.0) %
	KPI	乳がん検診受診率 11.5 (16.6) %
	独自	ほほ笑い教室利用者の満足度 4.8

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	独自の指標①	人間ドック受診者数		実績（値） 455人												
	独自の指標②			実績（値）												
	独自の指標③			実績（値）												
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>特定健診・特定保健指導：特定健診率 令和元年度36.2%（県平均33.6%）に対し、令和2年度は36.6%（県平均30.0%）県平均を上回りましたが目標値42%を達成するためには、更なる健診未受診者対策が必要です。特定保健指導受診率 令和元年度3.4%に対し、令和2年度は50%を上回る見込みです。</p> <p>人間ドック等助成：令和元年度より受診に要した費用のうち40,000円を上限（平成30年度要した費用の2分の1 上限20,000円）に助成額を引き上げた結果、令和元年度414人 令和2年度455人と増加しました。課題としては、健診結果に基づき、治療につなげる必要があります。</p> <p>医療費分析：1人当たりの医療費、医療受診率は、この3年間で最も低く、奈良県・同規模団体より低い状況です。1件当たりの医療費も令和元年度は、前年度より低く、奈良県・同規模団体・国より低い状況で、生活習慣病の状況として、医療費は外来・入院ともに減少傾向で推移していますが、基礎疾患である「高血圧症」「糖尿病」の受診状況は奈良県を超えています。</p> <p>上牧町けんしんGO！ポイント事業：発行率令和元年度11.3%（474人/4184人） 令和2年度7.4%（283人/3824人）</p> <p>上牧町国民健康保険健康優良世帯表彰：令和元年度11世帯 令和2年度15世帯</p> <p>国保保健指導事業（健診未受診者対策）業務委託：未受診者へ電話、訪問による受診勧奨を実施しました。（電話対象者577人のうち384人、家庭訪問1,880人のうち1,372人）</p> <p>ジェネリック医薬品差額通知：先発医薬品を処方したレセプトで、後発医薬品を利用した時に一定額（1剤当たり200円）以上削減効果が望まれる被保険者に年4回送付。令和2年度966件 国保事務支援センターから送付。</p>																
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																
<p>【特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健康診査受診率</td> <td>34.7</td> <td>36.2</td> <td>36.6</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>6.0</td> <td>3.4</td> <td>55.0</td> </tr> </tbody> </table>						H30	R01	R02	特定健康診査受診率	34.7	36.2	36.6	特定保健指導実施率	6.0	3.4	55.0
	H30	R01	R02													
特定健康診査受診率	34.7	36.2	36.6													
特定保健指導実施率	6.0	3.4	55.0													
<p>評価</p> <input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																
ニーズの方向性	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>人間ドック等助成事業は、令和元年度より2年間限定で助成額を上限4万円に増額変更しました。最終年度となる令和2年度の実施人数は大幅に増える見込みでしたが、年度当初から緊急事態宣言が発令され、集団健診中止や医療機関が人間ドックの未実施等の影響を受け、人間ドック等実施人数は目標値より15人少ない455人となりました。年度末にかけ非常に多くの方が申請され、人間ドック等の受診を必要とされています。令和3年度も助成額上限4万円が延長実施となり、令和2年度並みの実施人数となる見込みです。</p>															
事業の見直し余地（改善点）	<p>評価</p> <input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない															
<p>評価の根拠及び理由</p> <p>特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上を図り、必要な人に必要な保健指導を実施し、疾病の予防から重症化を防ぎ、医療費の抑制や介護給付費の抑制へ繋げるためには、生き活き対策課との連携の強化が不可欠です。</p>																

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>特定健診・健康診査、人間ドック等助成、上牧町けんしんGO！ポイント事業、未受診者対策、特定保健指導：健診は3方式①集団検診（保健センターで実施）②個別健診（奈良県内登録医療機関で実施）③人間ドックにより実施。集団検診は町が実施する各種がん検診と同時受診できるように配慮します。特定健診受診者のインセンティブ付与（上牧町けんしんGO！ポイント事業）を実施します。健診未受診者には、健診を受診勧奨の電話、訪問で受診勧奨を行います。（特定健診未受診者対策事業 業務委託）健診結果から保健指導が必要な人へ確実に保健指導を実施（特定保健指導未利用者対策事業 事業委託）します。住民一人ひとりが生活習慣病の発症及び重症化を予防するために生活習慣予防事業、特定健診受診者で、内服のため特定保健指導対象外となった人で生活習慣の改善が必要な人には、生活改善事業を実施します。</p> <p>医療費分析：医療費適正化対策として、保健事業計画の分析、評価を行い医療給付費の適正化を推進する事業、医療費通知、ジェネリック差額通知を実施します。</p> <p>上牧町国民健康保険健康優良世帯表彰：前年度中に被保険者全員が療養の給付や支給を受けていない世帯で、特定健診を受診している世帯に対し、商品券を交付します。</p> <p>奈良県が財政運営の主体となり、国保運営における医療費適正化の推進や財政健全化などの取組推進のための財源として被保険者努力支援制度による交付金の活用が重要であると考えます。今後も保健事業取組の新規事業（高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業）の実施や充実、強化に努めます。</p>				
	指標（予定）	KPI	特定健康診査受診率		42%
		独自	人間ドック受診者数		470人

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった								
	独自の指標①	SNS上での町の情報発信数		実績（値） 87件								
	独自の指標②	SNS上での事業所投稿数		実績（値） 36件								
	独自の指標③			実績（値）								
●事業の分析（評価の根拠・理由）												
<p>令和2年10月の1か月間を対象に入退院連携実施状況のアンケート調査を実施したところ、コロナ禍のため通常の連携体制が困難な状況下にもかかわらず、ケアマネジャーと西和地域6病院での退院調整率が前年度の78.5%から92.3%へと大幅に向上しており、ルールに則った連携が図れていることがわかりました。このことから、今までの顔の見える関係づくりや退院調整ルール作り事業などで培われた連携体制が活かされ、医療・介護関係者の連携体制がより強化されていると考えられます。また、「あんしんセット」についても、令和3年度からの導入に向けて西和地域7町の医療機関・ケアマネジャーの意見をもとに予定通り作成しました。</p> <p>「生き活きSNS」では医療・介護に関連する情報、新型コロナウイルスに関する情報や感染対策の工夫点等の共有や、コロナ禍のため医療・介護関係者が集まり意見交換会を開催することが困難なことから、SNS上で今後の活用方法に関する意見交換等を行いました。町の情報発信数の目標は達成できなかったものの、事業所の投稿数では目標を上回る結果となり、情報共有の場として少しずつ定着していると考えられます。また、利用登録事業所数は前年度と比較して34か所増加して合計106か所となり、より多くの事業所と情報共有や連携のとれる場となっています。</p>												
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。												
<p>【西和地域6病院からの退院調整率】</p> <table border="1"> <caption>西和地域6病院からの退院調整率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>退院調整率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30 (12月)</td> <td>80.2%</td> </tr> <tr> <td>R01 (6月)</td> <td>78.5%</td> </tr> <tr> <td>R02 (10月)</td> <td>92.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度の1か月間のアンケート調査を基に算出した退院調整率</p>					年度	退院調整率	H30 (12月)	80.2%	R01 (6月)	78.5%	R02 (10月)	92.3%
年度	退院調整率											
H30 (12月)	80.2%											
R01 (6月)	78.5%											
R02 (10月)	92.3%											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できる環境を整備するためには、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供する仕組みづくりが必要となり、今後ますます医療と介護の連携が必要になります。</p>											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「生き活きSNS」の運用に関して、医療・介護関係者の意見を参考にして「生き活きSNS」が医療・介護関係者にとってより価値のあるものとするため、新たな機能の実装を検討する必要があります。</p>											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 医療・介護関係者の連携強化の促進や日々の業務に役立てるため、「生き活きSNS」上で上牧町の地域資源情報を閲覧できるリンクサイトの立ち上げを検討します。また、コロナ禍のため医療・介護関係者が一堂に集まり会議や意見交換会を開催することが困難な状況なので、引き続きSNS上で様々な情報提供をするとともに、SNS上で意見を募るなど積極的に活用していく必要があります。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	病院から地域へシームレスな在宅移行ができ、介護が必要な方が安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、平成29年度に「西和地域7町における入退院連携マニュアル」を策定しました。令和3年度も医療機関やケアマネジャーへのアンケート調査を通して退院調整の状況を確認し、連携への課題の抽出などを検討していきます。また、西和地域7町で共通して使用する入退院に必要な物品を書面にまとめた「あんしんセット」をケアマネジャーを通して介護サービス利用者に配布し、配布後の活用状況を確認します。				
	医療・介護関係者の交流サイト「生き活きSNS」を活用して研修や新型コロナウイルス関連の情報等を共有するとともに、SNS上で意見交換なども行えるよう町から積極的に発信していきます。また、医療・介護関係者の連携強化の促進や日々の業務に役立てるため、「生き活きSNS」上で上牧町の地域資源情報を閲覧できるリンクサイトの立ち上げを検討します。				
	指標（予定）	独自	SNS上での町の情報発信数	100件	
		独自	SNS上での事業所投稿数	38件	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	独自の指標①	事業認知度（よく知っている、名前だけ知っている人の割合）	実績（値）	53.6%													
	独自の指標②		実績（値）														
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 4/7～7/15で、乳幼児健診、乳幼児相談、プレバママ教室に来られた方を対象にアンケートを実施し、知っていると回答した人は82人で56.2%でした。ただし、同じ回答者が含まれている可能性があり、正確な結果がでないと考えられたため、改めて10/1以降は妊娠届出に来られた妊婦を対象にアンケートを実施しました。回答数50人のうち知っていると回答した人は23人で46%であり目標を達成しました。 不妊治療費助成申請件数は15件、不育治療費助成申請件数は2件であり、令和元年度と比べて横ばいでした。 9月広報に折込チラシを入れ周知を図りました。また、出産施設である林産婦人科五位堂医院と不妊治療施設（ミズクリニックメイワ）へ助成案内のパンフレットを配布し周知を図りました。 平成28年度に助成を開始してから、不妊治療費助成申請者から8人、不育症治療費助成申請者から3人の出生がありました。また、令和2年度に不妊・不育治療費助成申請者のうち7人が妊娠されました。																
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																	
【アンケート実施時間】4/7～7/15 【対象者】乳幼児健診、乳幼児相談、プレバママ教室に来られた方 【アンケート結果】 知っている（よく知っている、名前だけ知っている）・・・ 82人（56.2%） 知らない・・・ 63人（43.2%） その他・・・ 1人（0.7%）		【助成制度の認知度】 															
【アンケート実施時間】10/1～3/31 【対象者】妊娠届出に来られた方 【アンケート結果】 知っている（よく知っている、名前だけ知っている）・・・ 23人（46%） 知らない・・・ 27人（54%）		<何で知ったか？>複数回答 <table border="1"> <tr><td>広報</td><td>42人</td></tr> <tr><td>ホームページ</td><td>18人</td></tr> <tr><td>子育て支援ガイドブック</td><td>9人</td></tr> <tr><td>ポスター</td><td>1人</td></tr> <tr><td>ばーぶるママ</td><td>0人</td></tr> <tr><td>母子健康手帳アプリ</td><td>0人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>8人</td></tr> </table>		広報	42人	ホームページ	18人	子育て支援ガイドブック	9人	ポスター	1人	ばーぶるママ	0人	母子健康手帳アプリ	0人	その他	8人
広報	42人																
ホームページ	18人																
子育て支援ガイドブック	9人																
ポスター	1人																
ばーぶるママ	0人																
母子健康手帳アプリ	0人																
その他	8人																
【申請件数】（単位：件）																	
		H28	H29	H30	R01	R02											
不妊治療		3	8	9	15	15											
不育症治療		1	3	2	1	2											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 事業に関する認知度は向上し、不妊・不育治療が必要な方も増加していきことが考えられます。今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示を継続します。知ったきっかけが一番多かった広報においては、年2回の掲載を年3回に増加して周知し、一人でも多く不妊・不育に困っている方に利用してもらえるようにします。 県の特定不妊治療助成の所得制限が撤廃されたことを受けて、上牧町も所得制限を撤廃するため、早期に広報等にて周知を図ります。 就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシを同封して周知を図ります。 不妊治療について助成制度を利用された方、相談に来られた方へニーズ調査を実施し、補助金の増額や助成期間の延長等の事業内容について検討をしていく必要があります。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		広報で事業を知った方が多くなったため、これまで年度内に2回の掲載を年度内に3回（5月、9月、2月）に増加して周知します。今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示を継続します。令和3年度からは、所得制限の撤廃のため、早期に広報等にて周知を図ります。また、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシを同封して周知を図ります。 令和2年度のアンケートを令和3年度も継続して実施します。 不妊治療について助成制度を利用された方、相談に来られた方へニーズ調査を実施し、補助金の増額や助成期間の延長などの事業内容について検討をしていく必要があります。			
	指標（予定）	独自	事業認知度（よく知っている、名前だけ知っている人の割合）		55%

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>関係各課との連携・情報共有①福祉課にて障害者手帳発行時 ②こども未来課にて児童扶養手当申請時・認定・却下時 ③教育総務課のスポーツ共済支給状況 ④生き活き対策課の養育医療等に関して連携・情報共有し、医療費助成事業を適正に行いました。 障害者（等級1、2級）の方で心身障害者医療/重度心身障害者老人等医療の未受給者については福祉課に情報提供していただき名簿を突合し、6人の方に制度周知の勧奨通知を送り、新たに1人の方が認定となりました。</p>			
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障害者手帳1、2級を受給された方は、「心身障害者医療費助成申請」のため福祉課と連携します。 こども未来課において児童扶養手当を受給された方は「ひとり親家庭等医療費助成申請」のため連携します。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障害者（等級1、2級）の方で心身障害者医療/重度心身障害者老人等医療の未受給者については福祉課と連携体制を整えることが出来ましたが、障害等級の変更については連携出来ていませんでした。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 月1回の各課と情報連携時には、障害等級の変更についても、情報連携していきます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	引き続き、①福祉課にて障害者手帳発行及び変更時 ②こども未来課にて児童扶養手当申請時・認定・却下時 ③教育総務課のスポーツ共済支給状況 ④生き活き対策課の養育医療等に関して情報連携体制を強化し、医療費助成事業を適正に行います。				
	指標（予定）	-			
		-			
		-			
		-			

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	地域包括支援センター	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	② 住民福祉とともに支え合い健やかでとぎめきがうまれるまちづくりー		
	基本施策	③ 高齢福祉		
	施策の展開方向	① 地域包括ケアシステムの構築		
目指す姿	タイトル	高齢になっても安心して住み続けられるまち		
	高齢者の活動の場があり、一人ひとりが健康で生きがいを持った生活を送り、いつまでも自分らしく、安心して住み続けられるまちを目指します。			
想定される取組	【地域包括ケアシステムの構築】 【医療と介護のネットワークづくりのための意見交換会の推進】 【認知症高齢者の見守り事業の充実】 【認知症カフェの推進】 【認知症推進員の増員】 【生活支援サポーター・傾聴ボランティアのさらなる養成】 【地域ケア会議の推進】			
令和2年度実施予定	<p>【生活支援サポーター】 高齢者が安心して在宅生活を継続できることを目指し、令和2年度も引き続き生活支援サポーターの養成講座の開催と生活支援サポーターの活動の支援を行います。また、生活支援サポーターの増員を図るため現在ボランティアとして活躍している方にも協力を依頼し、周囲の人に養成講座について動めていただきます。</p> <p>【傾聴ボランティア】 令和2年度も引き続き傾聴ボランティア養成講座の開催及びボランティア活動の助成を行い、今後より活発に傾聴活動が行えるよう支援します。</p> <p>【地域ケア会議】 介護サービス利用者のケアプランをもとに、自立支援に向けて多職種で支援内容の検討を行う会議を年3回（合計12事例）開催します。また、地域ケア会議の開催が必要な事例が生じた場合は随時開催します。</p> <p>【認知症カフェ（おれんちカフェ）】 認知症の当事者やそのご家族、地域住民等が安心して交流できる場所となる認知症カフェを2か所で各月1回開催します。</p> <p>【上牧町高齢者等見守りネットワーク事業】 認知症等により行方不明になる可能性のある方の個人情報を町に登録することで、万が一行方不明になった際になるべく早く自宅に戻れるよう支援します。登録した方には、衣服等に貼って使用するQRコードシール（上限30枚）と専用キーホルダーを配布します。また、企業・団体に協力事業所の登録を呼びかけ、地域全体で認知症の方を見守る体制を構築します。</p>			
独自の指標	指標①	地域ケア会議開催回数	目標（値）	3回
	指標②		目標（値）	
総合戦略の取組				

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	R02時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R03時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（予算）	
事業費	生活支援サポーター養成事業・活動支援事業	41	60	93	102	102	
		41	60	93	60	95	
	傾聴ボランティア養成事業・活動助成事業	152	159	163	170	170	
		152	159	163	90	80	
	地域ケア会議	87	71	58	77	77	
		87	71	58	35	77	
	認知症カフェ事業	24	84	42	108	108	
		24	84	42	0	48	
上牧町高齢者等見守りネットワーク事業	0	0	538	0	0		
	0	0	538	0	0		
合計	(R02時点)	304	374	894	457	457	5年間累計 2,486
	(R03時点)	304	374	894	185	300	5年間累計 2,057
令和2年度実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった					
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	【傾聴ボランティア】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設・在宅での傾聴活動を中止し活動内容を縮小しているため、養成講座の開催を中止しました。 【認知症カフェ】 2000年会館と介護老人保健施設でおれんちカフェを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。					

※「R02（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
生活支援サポーター・傾聴ボランティアの人数	【40歳以上のボランティア】	人	0	52	55 46	40	50
認知症カフェ	参加人数	人	—	62	— 0	15	20
要介護認定者数	65歳以上	人	1,066	1,215	— 1,275	1,090	1,100
成年後見制度利用支援（町長申立件数）累計	65歳以上	人	7	11	— 11	10	13

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった						
	独自の指標①	地域ケア会議開催回数		実績（値） 6回						
	独自の指標②			実績（値）						
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>【生活支援サポーター・傾聴ボランティア】生活支援サポーター養成講座を開催し4人が修了したため、実際に活動している生活支援サポーターは合計23人となり、43人の利用登録者に対し延186件の困りごと（草刈り、買い物代行等）に対応しました。また、傾聴ボランティアの活動はコロナ禍のため従来の施設・在宅での傾聴は中止し、ボランティアがイラストを描いた絵手紙にメッセージを書いて郵送する手紙での傾聴と、電話での傾聴という形式に切り替えコロナ禍に合わせた活動内容に変更しました。傾聴ボランティア養成講座の開催中止により、生活支援サポーターと傾聴ボランティアの合計が46人（活動休止中の生活支援サポーター11人と傾聴ボランティア4人は除く）となり目標は達成できなかったものの、コロナ禍でも可能な限り活動を継続しました。</p> <p>【地域ケア会議】令和2年度は予定通り合計3回開催し、12事例の検討を多職種で行いました。また、至急検討が必要な2事例に対して合計3回の会議を随時開催しました。</p> <p>【認知症カフェ】2000年会館と介護老人保健施設でおれんちカフェを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p> <p>【上牧町高齢者等見守りネットワーク事業】令和2年度は新たに7人の方が申請され、令和2年度末時点で19人の方が登録しています。また、実際にQRコードシールの読み取りにより早期帰宅につながったケースが2件ありました。日頃の見守り活動や行方不明発生時に日常業務範囲内で捜査に協力していただく企業・団体（協力事業所）の登録は12箇所あり、認知症の方の見守り体制の構築につながっています。</p>									
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【上牧町高齢者等見守りネットワーク事業登録者数（各年度末時点人数）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R01</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	登録者数	R01	12人	R02	19人
年度	登録者数									
R01	12人									
R02	19人									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化の進行や独居高齢者の増加に伴い、介護保険のサービスでは対応できない日常生活の困りごとへの対応のニーズが増加することが予想されます。また、高齢化だけでなくコロナ禍に伴う外出自粛により社会活動の機会が減少することに起因して認知症等のリスクが増加することが危惧されるため、地域全体でお互いがお互いを見守る共助が更に重要になり、各ボランティアの活動や見守りネットワーク事業等の必要性はより増していくと考えられます。</p>									
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で本来のボランティア活動が困難な状況下でそれぞれ感染対策を講じた上で活動を継続していますが、特に生活支援サポーターの実際に活動できる人数が少ない現状があります。今後各ボランティア活動のニーズが増加傾向にあることに伴い、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮した上でボランティアの人数を増加させる取組が必要です。</p>									

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>次年度も引き続き生活支援サポーターの養成講座を開催し、ボランティアの人数の増加を図ります。また、何かボランティア活動をしてみたいと思っている新たな担い手に向けた発信及び、支援を必要としている方に生活支援サポーターがどのような手助けができるか知ってもらうことを目的として、現在活動しているボランティアと一緒に広報記事を作成し活動内容の周知を図ります。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【生活支援サポーター】高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、令和3年度も引き続き生活支援サポーターの養成講座を開催するとともに、生活支援サポーターの活動支援を継続します。また、新たな担い手の発掘及び支援を必要とする方に活動内容が伝わるような広報記事をボランティアと一緒に作成します。</p> <p>【傾聴ボランティア】令和3年度も傾聴ボランティアの養成講座は中止する予定ですが、引き続きコロナ禍でも可能な傾聴方法（手紙・電話）で活動を継続できるよう支援します。</p> <p>【地域ケア会議】介護サービス利用者のケアプランをもとに、自立支援に向けて多職種で支援内容の検討を行う会議を年3回（合計12事例）開催します。また、地域ケア会議の開催が必要な事例が生じた場合は随時開催します。</p> <p>【認知症カフェ（おれんちカフェ）】新型コロナウイルスの感染状況を考慮した上で、認知症の当事者やそのご家族、地域住民等が安心して交流できる場所となる認知症カフェの開催を検討します。</p> <p>【上牧町高齢者など見守りネットワーク事業】認知症等により行方不明になる可能性のある方の個人情報等を町に登録することで、方が行方不明になった際になるべく早く自宅に戻れるよう支援します。登録した方には、衣服等に貼って使用するQRコードシール（上限30枚）と専用キーホルダーを配布します。また、企業・団体に協力事業所の登録を呼びかけ、地域全体で認知症の方を見守る体制を構築します。</p>					
	指標（予定）	KPI	生活支援サポーター・傾聴ボランティアの人数		50人	
		KPI	認知症カフェ参加人数		15人	
		独自	地域ケア会議開催回数		3回	
	-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																
	独自の指標①		実績（値）																																	
	独自の指標②		実績（値）																																	
	独自の指標③		実績（値）																																	
●事業の分析（評価の根拠・理由）																																				
○シルバークラブ連合会 事務局として打ち合わせ会議への参加や事業実施の補助を行い、運営に関する支援を行いました。 〔シルバークラブ連合会事業実績〕 春のグラウンドゴルフ 毎年、春に実施していましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、翌年の3月23日に事業を行いました。 秋のグラウンドゴルフ、さわやか旅行、ウォークラリー、フロアカーリング、文化祭への作品展示は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、事業を中止しました。 ○シルバー人材センター 登録者数は、前年度より減少しましたが、草刈り・清掃作業・マイクロバスの運転・アピタ（ラスパ）でのカート整理・介護施設でのシーツ交換や清掃・広報やチラシの配布・一般家庭での家事援助等幅広く活動の場が増えました。																																				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																				
<p style="text-align: center;">【シルバークラブ連合会事業参加者数】 （単位：人）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春のグラウンドゴルフ</td> <td>87</td> <td>78</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>秋のグラウンドゴルフ</td> <td>102</td> <td>93</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>さわやか旅行</td> <td>114</td> <td>99</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>ウォークラリー</td> <td>119</td> <td>116</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>フロアカーリング（上牧第一町民体育館）</td> <td>117</td> <td>105</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>フロアカーリング（上牧第二小学校）</td> <td>75</td> <td>85</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>フロアカーリング（上牧第三小学校）</td> <td>124</td> <td>107</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>						H30	R01	R02	春のグラウンドゴルフ	87	78	82	秋のグラウンドゴルフ	102	93	中止	さわやか旅行	114	99	中止	ウォークラリー	119	116	中止	フロアカーリング（上牧第一町民体育館）	117	105	中止	フロアカーリング（上牧第二小学校）	75	85	中止	フロアカーリング（上牧第三小学校）	124	107	中止
	H30	R01	R02																																	
春のグラウンドゴルフ	87	78	82																																	
秋のグラウンドゴルフ	102	93	中止																																	
さわやか旅行	114	99	中止																																	
ウォークラリー	119	116	中止																																	
フロアカーリング（上牧第一町民体育館）	117	105	中止																																	
フロアカーリング（上牧第二小学校）	75	85	中止																																	
フロアカーリング（上牧第三小学校）	124	107	中止																																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																
	評価の根拠及び理由 今後ますます高齢化率が高まるにつれて、高齢者の単身世帯や老老世帯が増加することが予想され、高齢者の生きがいづくりの場のニーズはより高くなります。地域での支え合いや集いの場の確保は今後さらに必要になります。																																			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																
	評価の根拠及び理由 シルバークラブ連合会の事業については、参加者の固定化が見られます。支援の方法や集いの場への参加促進について、今後も継続してシルバークラブと協議を進めながら、高齢者同士のつながりを維持する活動内容を検討する必要があります。 シルバークラブ未組織の地区に対し、立ち上げに向けての働きかけを行います。																																			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） シルバークラブ連合会の事業については、参加者の固定化がみられるため、支援の方法や集いの場への参加促進について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を検討しながら、高齢者同士のつながりを維持する活動を推進します。					
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	○シルバークラブ連合会 春のグラウンドゴルフ、秋のグラウンドゴルフ、さわやか旅行、ウォークラリー、フロアカーリング等の事業については、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、実施の判断や代替事業について団体と協議を行い検討していく予定です。定期的な会議や研修会についても、回数等の縮小も見据えながら、事務局として活動支援を継続します。会員増強委員会の開催を支援し未組織地区への働きかけを行います。						
	○シルバー人材センター 「草刈り業務」「2000年会館内清掃業務」「2000年会館管理業務」「ほほ笑みサロン片岡管理業務」を委託します。						
	指標（予定）	KPI	シルバークラブ会員数			1,750人	
		KPI	シルバー人材センターの登録者数			300人	
	-						
	-						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	友愛訪問活動チーム数の確保	実績（値）	17チーム
	独自の指標②	活動内容の拡充	実績（値）	2種類
	独自の指標③		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 友愛活動では各地域で合計17チームが介護予防を目的に活動を行っています。新型コロナウイルス感染拡大により活動内容は制限されましたが、感染対策をしつつ訪問・声かけを実施するなど可能な範囲で活動しました。令和2年度は新たな活動内容の拡充として友愛活動本部が購入したスカットボールでの活動や、手作りマスクを製作し配布するなど、コロナ禍だからこそできる活動を検討し、可能な範囲で高齢者同士のつながりの維持に努めました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
【友愛活動数及びチーム数】				
		H30	R01	R02
友愛活動数		78	80	40
友愛活動チーム数		18	18	17
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 高齢者の増加に伴い、今後さらに独居高齢者や高齢者世帯が増加していくため、高齢者の生きがいづくりの場や地域での支え合いのニーズはより高まると考えられます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 友愛活動の多くが1か所に集い会話をすることで見守り活動や住民同士のつながりを維持していましたが、コロナ禍では難しい状況が考えられます。新型コロナウイルスの感染リスクを抑えつつ、高齢者同士のつながりを維持することが可能な活動内容について検討が必要です。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 感染対策のため少人数での活動内容に変更するにあたり、5人程度の少人数で行えるスカットボールを活用します。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	高齢者のサロン活動（友愛訪問活動） 要フォロー高齢者世帯への訪問活動を継続するとともに、少数単位で活動可能なスカットボール等のレクリエーション活動の実施と検討を行います。また、チーム員の増員の呼びかけ、友愛活動未実施の地区への参加呼びかけを行い、より活動の場を拡充できるよう検討します。				
	指標（予定）	独自	友愛訪問活動チーム数の確保	18チーム	
		独自	活動内容の拡充	2種類以上	
		—			
		—			

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	地域包括支援センター	関連部署			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	② 住民福祉—ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり—			
	基本施策	③ 高齢福祉			
	施策の展開方向	③ 介護予防の推進			
目指す姿	タイトル	高齢になっても安心して住み続けられるまち			
高齢者の活動の場があり、一人ひとりが健康で生きがいを持った生活を送り、いつまでも自分らしく、安心して住み続けられるまちを目指します。					
想定される取組	【各予防教室の継続】 【各予防教室への参加呼びかけ】				
令和2年度実施予定	<p>65歳以上のすべての住民を対象とした介護予防教室として以下の教室を開催します。</p> <p>●ときめきクラブ・ためトレほほ笑みクラブ…地域体操教室指導者養成講座の修了者が中心となり、ときめきクラブでは週1回全13か所の公民館等で実施します。そのうち5教室を住民主体の自主運営へと切り替えますが、安定した教室運営や参加者の確保ができるよう実施団体と協力して事業運営を行います。また、ためトレほほ笑みクラブは週1回片岡台3丁目でストレッチや筋トレ等を行う教室を開催します。新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施の判断を行い、実施できなかった場合は、在宅でも運動ができるよう体操動画をYouTube等で公開し、身体機能の低下を予防します。●ハッピーライフ教室…1クール全8回の運動習慣をつける教室を合計3クール開催します。●お口の教室…口腔内の清潔保持や誤嚥予防等の方法について歯科医師・歯科衛生士が説明し、正しい口腔ケアを身につける教室です。1クール全3回を2クール開催します。（定員各クール15人）●脳の健康教室…認知症予防及び認知症の進行をゆるやかにするため、簡単な読み書き・計算や体操等を行う全25回の教室です。</p> <p>●高齢者介護予防サロン支援事業…地域で活動している対象要件を満たす49団体に対して、実績に応じて活動費の助成を行います。</p> <p>●高齢者教室…月2回程度、全9教室（民謡、コーラス、華道茶道、水墨画、ちぎり絵、民謡、輪踊り、フォークダンス）を開催します。※すべての介護予防教室において、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施の有無や、人数の調整を行います。</p>				
独自の指標	指標①	脳の健康教室の新規参加者数	目標（値）	15人	
	指標②	ハッピーライフ教室延べ参加人数	目標（値）	330人	
総合戦略の取組					

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	R02時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R03時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（予算）	
事業費	ときめきクラブ	1,344	1,499	1,584	1,218	854	
		1,344	1,499	1,584	839	692	
	ためトレほほ笑みクラブ	159	116	196	196	196	
		159	116	196	196	196	
	脳の健康教室	1,834	1,325	1,428	1,633	1,633	
		1,834	1,325	1,428	616	869	
	ハッピーライフ教室	779	783	914	920	920	
		779	783	914	920	920	
	お口の教室	171	171	327	394	394	
		171	171	327	218	0	
高齢者介護予防サロン支援事業	743	900	920	1,209	1,209		
	743	900	920	831	1,209		
高齢者教室	648	648	605	648	648		
	648	648	605	390	648		
合計	(R02時点)	5,678	5,442	5,974	6,218	5,854	5年間累計
	(R03時点)	5,678	5,442	5,974	4,010	4,534	5年間累計

令和2年度実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった				
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止や規模を縮小した事業があり、計画通りに実施できませんでした。</p> <p>●ときめきクラブ…緊急事態宣言中をはじめ感染拡大がみられた場合は一時的に中止し、再開時は参加者を2グループに分けて実施しました。コロナ禍による外出自粛により高齢者の運動機能低下が懸念されたことから、自宅でも体操ができるよう、上牧町公式YouTubeチャンネルでの体操動画公開や動画のDVD化を実施しました。●ためトレクラブ…緊急事態宣言中は中止し、再開後は参加者を2グループに分けて実施し延べ308人が参加しました。●ハッピーライフ教室…感染対策のため、会場の規模に合わせて予定していた15人から12人に定員を縮小して実施しました。●お口の教室…第1クールの参加人数がコロナ禍ということもあり5人と少人数でした。より多くの方にオーラルフレイル対策を啓発することを目的とし、予定していた第2クールに替えてお口の体操等を収録したDVDを作成する方針に変更し、令和3年度の配布に向けて歯科医師や歯科衛生士の協力のもとDVDの内容の検討や撮影・編集を行いました。●脳の健康教室…感染対策のため規模を縮小して実施しました。●高齢者介護予防サロン支援事業…感染状況や活動内容に応じて休止した団体がありました。●高齢者教室…感染リスクの高いコーラス教室は年度を通して中止しました。その他の教室では緊急事態宣言中は中止し、宣言解除後は活動内容や感染状況に応じて休止した教室がありました。</p>				

※「R02（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値		
ときめきクラブ【体操教室】の設置数	設置数	教室	6	11	13	9	10
					13		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	脳健康教室の新規参加者数	実績（値）	7人
	独自の指標②	ハッピーライフ教室延べ参加人数	実績（値）	237人
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>脳健康教室においては感染対策のため参加者数を予定していた60人から18人に大幅に減らしたことが影響し、新規参加者は7人と目標値である15人を達成することはできませんでした。しかし、参加者の満足度も高く来年度以降も継続して実施・参加を希望する意見がたくさん寄せられました。感染対策をしながらも最大限参加希望者を受け入れられるよう来年度の実施体制を検討する必要があります。</p> <p>ハッピーライフ教室は延べ330人の参加を目標値としていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を縮小して実施したこともあり、延べ237人という結果で目標を達成することができませんでした。全3クールにおいてキャンセル待ちが発生しており、コロナ禍での外出機会が減少する中で自宅での筋トレ等を学べる本教室への需要は高く、ほぼ全ての参加者に身体能力の向上・維持が見られるなど好評を得ました。</p> <p>ときめきクラブは緊急事態宣言中等の中止期間を除き、感染対策を講じた上で週1回全13箇所延べ2,223人の受講者が教室に参加し、目標値を達成することができました。</p> <p>以上のことからすべての教室で通常通りの実施はできませんでしたが、コロナ禍の今だからこそ介護予防の取組が必要不可欠であることから、各教室で感染対策を講じ必要に応じて活動内容を柔軟に変更するなど可能な限り教室を継続しました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>年齢とともに体力低下や社会性の低下などのフレイル（虚弱）のリスクが高くなるだけでなく、コロナ禍による外出機会の減少もフレイルの大きな要因となることから、より一層の介護予防の啓発や教室の実施を通して運動習慣の定着や社会参加を図る必要があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ときめきクラブについてはキャンセル待ちが出ている状況であり、会場や指導者の確保に努め引き続き新たな参加者を広く受け入れる必要があります。また、コロナ禍により外出自粛の影響による様々な身体機能低下等のリスクも考慮した教室内容への変更を検討する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>「コロナ禍のため、各介護予防教室の活動内容や会場の人数制限等に応じて規模の縮小や実施内容の変更を行います。」「お口の教室」については、単体での教室実施に替えて他の介護予防教室に組み合わせることでより多くの方に口腔機能向上の啓発を行います。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【ときめきクラブ】週1回全13箇所の公民館等で、養成講座を修了した指導者が中心となってストレッチ等を行う体操教室を実施します。令和3年度は新たに4教室を住民主体の自主運営へと切り替え、13教室中9教室が自主運営となりますが、安定した教室運営や参加者の確保ができるよう引き続き実施団体と協力して教室運営を行います。</p> <p>【ハッピーライフ教室】全8回の運動習慣をつけるための体操が主となる内容と、口腔機能向上の講座1回を組み合わせた1クールあたり全9回の教室を合計3クール開催します。</p> <p>【お口の教室】コロナ禍に伴う外出自粛による影響で口腔機能の低下のリスクが増大しているため、令和3年度は教室単体で開催するのではなく、他の介護予防教室に口腔機能向上の講座を組み合わせる形式に変更し、口腔機能向上の重要性をより広く周知していきます。</p> <p>【脳健康教室】認知症予防及び認知症の進行をゆるやかにするために、簡単な読み書き・計算（楽習）を行う半年間全24回の教室を実施します。楽習に加え、体操・認知症予防レクリエーション・口腔機能向上講座・折り紙教室等を織り交ぜ様々な視点から認知症・介護予防を啓発します。</p> <p>【高齢者介護予防サロン支援事業】令和3年度も地域で活動している対象団体に対して、実績に応じて活動費の助成を行い介護予防の促進を図ります。</p> <p>【高齢者教室】月2回程度、全8教室（民謡、コーラス、華道茶道、水墨画、ちぎり絵、民謡、輪踊り、フォークダンス）を開催します。コロナ禍により感染リスクの高いコーラス教室は令和2年度に引き続き中止します。</p>					
	指標（予定）	KPI	ときめきクラブ【体操教室】の設置数	13箇所		
		独自	ハッピーライフ教室延べ参加人数	237人		
		独自	脳健康教室の新規参加者	7人		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>【生活支援サポーター・傾聴ボランティア】</p> <p>生活支援サポーター養成講座を開催し、4人が修了したため実際に活動している生活支援サポーターは合計23人となり、43人の利用登録者に対し延べ186件の困りごと（草刈り、買い物代行等）に対応しました。また、傾聴ボランティアの活動はコロナ禍のため従来の施設・在宅での傾聴は中止し、ボランティアがイラストを描いた絵手紙にメッセージを書いて郵送する手紙での傾聴と、電話での傾聴という形式に切り替えコロナ禍に合わせた活動内容に変更しました。</p> <p>傾聴ボランティア養成講座の開催中止により、生活支援サポーターと傾聴ボランティアの合計が46人（活動休止中の生活支援サポーター11人と傾聴ボランティア4人は除く）となり目標は達成できなかったものの、コロナ禍でも可能な限り活動を継続しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化の進行や独居高齢者の増加に伴い、介護保険のサービスでは対応できない日常生活の困りごとへの対応のニーズが増加することが予想されます。また、高齢化だけでなくコロナ禍による外出自粛により社会活動の機会が減少することに起因して認知症等のリスクが増加することが危惧されるため、地域全体でお互いがお互いを見守る共助が更に重要になり、各ボランティアの活動や見守りネットワーク事業等の必要性はより増していくと考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で本来のボランティア活動が困難な状況下でそれぞれ感染対策を講じた上で活動を継続していますが、特に生活支援サポーターの実際に活動できる人数が少ない現状があります。今後各ボランティア活動のニーズが増加傾向にあることに伴い、新型コロナウイルスの感染状況を考慮した上でボランティアの人数を増加させる取組が必要です。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>次年度も引き続き生活支援サポーターの養成講座を開催し、ボランティアの人数の増加を図ります。また、何かボランティア活動をしてみたいと思っている新たな担い手に向けた発信及び支援を必要としている人に生活支援サポーターがどのような手助けができるか知ってもらうことを目的として、現在活動しているボランティアと一緒に広報記事を作成し活動内容の周知を図ります。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【生活支援サポーター】</p> <p>高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、令和3年度も引き続き生活支援サポーターの養成講座を開催するとともに、生活支援サポーターの活動支援を継続します。また、新たな担い手の発掘及び支援を必要とする人に活動内容が伝わるような広報記事をボランティアと一緒に作成します。</p> <p>【傾聴ボランティア】</p> <p>令和3年度も傾聴ボランティアの養成講座は中止する予定ですが、引き続きコロナ禍でも可能な傾聴方法（手紙・電話）で活動を継続できるよう支援します。</p>					
	指標（予定）	KPI	生活支援サポーター・傾聴ボランティアの人数			50人
		—				
		—				
		—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	赤ちゃん訪問実施率		実績（値） 98%
	独自の指標②	パパの教室参加割合（パパの教室参加者/母子健康手帳発行数×100%）		実績（値） 20.7%
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>①プレパパママ教室の開催 「上牧町保健事業予定表」「広報かんまき」「ホームページ」「母子健康手帳アプリ」に教室の開催を掲載することや、妊娠届提出時に全件、教室を担当する助産師や保健師等の専門職員が面接を行うなど、マタニティ教室への参加を促しています。また、妊娠中期から後期にかけて妊婦へ電話をかけ様子を確認し必要な支援を行う中で、教室の勧奨を実施しました。（妊娠届出件数は年間92件で前年度より微増していますが、出生数は平成30年118人、令和元年102人、令和2年82人と減少傾向がみられます。） 5月は緊急事態宣言中のため、教室は中止しましたが、6月以降は感染症対策を講じながら、参加人数によっては、多目的室といったより広い会場で実施するなど、3密にならないよう工夫し、11回開催しました。 令和2年度は参加者延べ人数は77人（実48人）で、そのうち夫の参加者延べ人数は25人（実19人）であり、「パパの教室参加割合（パパの教室参加者/母子健康手帳発行数×100%）」は、目標値20.0%に対し20.7%で目標を達成しました。 （参考）参加者延べ人数経年実績：28人（H28）、35人（H29）、50人（H30）、47人（R01） 教室で取り上げて欲しいテーマを伺い、要望の多かった内容について、新たに教室（C日程）を追加し4回実施しました。実施回数が多くなったこともあり、延べ人数が大幅に増加しました。 教室後に実施したアンケートでは、満足度は5段階評価で、A日程平均4.7、B日程4.9、C日程5.0であり、全日程ともに4.5以上でした。このことから満足度の高い教室を実施できていると評価しました。</p> <p>②新米ママへの訪問カウンセリングの拡充 新型コロナウイルス感染症の流行により、訪問を拒否される方がいたため実施率が100%に至りませんでした。子育て世代包括支援センターが、妊娠届提出時の全件面接・カウンセリングを行い、妊娠期からの切れ目のない細やかな支援に向けて、地区担当の保健師と連携して、継続した訪問・電話等の支援を行いました。産後2週間程度で出生した家庭全てに電話で母子、家族の健康状態の把握をし、訪問を希望される方は産後2か月までに家庭訪問を行いました。助産師と地区担当保健師が全戸訪問を行うとしていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、産後2週間での電話等で要支援と判断した対象者のみ地区担当保健師と2人体制で訪問し、必要な情報提供（カタログギフトの贈呈やごみ袋の配布等）や支援につなげることができました。訪問拒否の理由は、新型コロナウイルス感染症流行のためでその他の理由はありませんでした。</p> <p>③乳児健診については、受診率は、3か月児（96.5%→94.6%）、10か月児（97.2%→97.6%）、幼児健診については1歳8か月児（95.9%→91.7%）、3歳児（94.3%→88.2%）とすべての検診において低下しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、健診を欠席される方がいたことが受診率の低下に影響を与えていると考えられます。未受診者に対しては、所属している保育所等で直接健康状態等の確認を全件実施しています。虐待が疑われるケースについては、要保護児童対策地域協議会に報告し、各関係機関と情報連携しながら見守り等の対応を継続しています。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>情報が手に入りやすくなった一方で、何が正しい情報なのかわからず悩まれていたり、少子化の影響で身近に同じ境遇の人がいなくて相談できない方が増えており、行政サービスを通じて支援や仲間づくり、情報共有の場と機会の創出を求めるニーズは高まると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>①初めての妊娠の方だけでなく、経産婦の参加も多く、子どもがいても参加できるように、託児の必要性があると思います。また、今後も継続してアンケートを実施し、教室の満足度やニーズを把握したり、視覚教材等の媒体を使用することで、より満足度の高い教室を目指していきたいと思えます。</p> <p>②新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、感染防止策を十分に講じ、安全安心な家庭訪問について検討します。訪問を拒否する母親に対しては、理由を明らかにするとともに、今後も来所にて対応したりと個々に応じた支援をしていきたいと思えます。また、赤ちゃん訪問に関する匿名のアンケートを実施するとともに、訪問内容や記念品の内容等を検討し、赤ちゃん訪問実施率100%を目指します。</p> <p>③乳児・幼児健診の実施については、2-1-1医療機関との連携強化で評価を行います。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>上記、改善点の欄を参照</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>①プレパパママ教室の開催（令和3年度からは、こども未来課で実施） 毎月開催します。 A日程（4、7、10、1月）：妊婦体験、沐浴体験、育児の見える化ワーク等 B日程（5、8、11、2月）：助産師による分娩の話、母乳育児について、管理栄養士の妊娠中の食事について等 C日程（6、9、12、3月）：産前に聞いてほしい「産後」のお話、育児体験等（初産婦さん向け） 3回×年4セット 全日程9：30～11：30（A日程のうち2回は土日に開催） 妊娠届出時に、助産師等の専門職が教室参加勧奨を実施します。また、広報・ホームページ・母子健康手帳アプリ等で教室の周知を図ります。</p> <p>②新米ママへの訪問カウンセリングの拡充、母子健康手帳発行時の全件面接（令和3年度からは、こども未来課で実施） 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、感染防止策を十分に講じ、安全安心な家庭訪問について検討します。子育て世代包括支援センターが、妊娠届提出時の全件面接・カウンセリングを行い、妊娠期からの切れ目のない細やかな支援に向けて、地区担当の保健師と連携して、継続した訪問・電話等の支援を行います。助産師と地区担当の保健師が、出産後の家庭訪問を実施し、新生児等の育児について育児、栄養、衣服、生活環境、疾病予防に関すること（保護者に対する問診、新生児の観察等を行い異常又は疾病の発見並びに早期治療を受けることの指導、助言含む）等全般に指導、助言や子育てに関する情報提供を行います。また、保護者の健康管理について、指導、助言を行います。赤ちゃん訪問記念品（育児カタログギフト）と、おむつ排出用ごみ袋を訪問家庭に贈呈します。赤ちゃん訪問に関する匿名のアンケートから、訪問内容や記念品の内容等を検討します。</p> <p>①～②の取組について、今後の取組方針を踏まえた見直しや改善を図りながら、継続して実施する予定です。</p>					
	指標（予定）	独自	パパの教室参加割合（パパの教室参加者/母子健康手帳発行数×100%）		22%	
	独自	プレパパママ教室の満足度（5段階評価）		4.5以上		
	独自	赤ちゃん訪問実施率		100%		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																					
	独自の指標①		実績（値）																																																																																						
	独自の指標②		実績（値）																																																																																						
	独自の指標③		実績（値）																																																																																						
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛により、町主催の婚活イベントは中止になりましたが、このコロナ禍の中でも何かできることはないかと定例会で意見を出し合い、マリッジサポーターの発案・デザインで、結婚相談会をPRするマスクケースを作製しました。また、同じデザインで車に貼るマグネットシールも作製し、町の巡回バス3台、公用車2台に貼付しています。同じく定例会で、令和4年度から独立したマリッジ支援団体になるためにNPO法人についての勉強会を複数回行い、独立についてじっくり考えることができたと考えます。</p> <p>結婚相談窓口は毎月開設していましたが、新型コロナウイルスの影響で参加者は少なく、サポーターが登録者に個別に連絡を取り、相談会に呼んだり、相談会以外で相談に乗ったりすることで、相談者との信頼関係が途切れないようにサポートを続けました。マリッジサポーター5期生の養成講座を11月と2月に行い、サポーターも一部の講座で講師を務めました。新たに1人の方にサポーターになって頂き、令和3年度は15人で活動していただきます。</p> <p>また、サポーターのこれまでの尽力により、令和元年度の3組に引き続き、令和2年度も1組の成婚がありました。令和元年度に成婚されたカップルにバビーも誕生しています。以上のことから、概ね目標の成果が得られたと考えます。</p>																																																																																								
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>																																																																																									
<p>【結婚相談窓口開設曜日と相談件数】 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>土</th><th>木</th><th>土</th><th>木</th><th>土</th><th>木</th><th>土</th><th>祝</th><th>木</th><th>土</th><th>木</th><th>土</th><th>木</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R02</td> <td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>【マリッジサポーター年度別推移表】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5期生</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4期生</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3期生</td> <td></td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>1・2期生</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	土	木	土	木	土	木	土	祝	木	土	木	土	木	R02	0	0	4	0	0	0	0	1	1	0	2	2	10	R01	0	0	4	4	4	1	4	2	2	1	2	0	26		H29	H30	R01	R02	5期生				1	4期生			2	2	3期生		6	5	5	1・2期生	9	8	7	7	合計	9	14	14	15
	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																											
	土	木	土	木	土	木	土	祝	木	土	木	土	木																																																																												
R02	0	0	4	0	0	0	0	1	1	0	2	2	10																																																																												
R01	0	0	4	4	4	1	4	2	2	1	2	0	26																																																																												
	H29	H30	R01	R02																																																																																					
5期生				1																																																																																					
4期生			2	2																																																																																					
3期生		6	5	5																																																																																					
1・2期生	9	8	7	7																																																																																					
合計	9	14	14	15																																																																																					
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																					
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>マリッジサポーターの相談者へのフォローがしっかりと行われていること等が口コミで広がり、信頼も得られていると考え、ニーズは増加すると考えます。</p>																																																																																								
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																																																																					
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>令和2年度は婚活イベントが全く行えなかったため、登録者も増えず、改めてイベントが大切であることがわかりました。オンラインを使用することも必要ではないかと考えます。</p>																																																																																								

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>令和3年度のイベントはオンラインで行うことにします。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、引き続き集客してのイベント開催は難しいと考え、令和3年度はZOOMを利用したオンライン婚活セミナーやオンライン婚活イベントを行う予定です。</p> <p>また、令和4年度のNPO法人化に向けて、団体設立に関する指導・助言等を行うほか、サポーターに対してオンラインを活用するための研修を実施します。</p>					
	指標（予定）	KPI	結婚支援①（婚活支援）			7組
		KPI	結婚支援②（マリッジサポーター）			17人
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>上牧第1保育所では、延長保育・障害児保育・家庭支援推進保育士の配置等を行い、保育サービスの充実に努めています。子育てや子どもの発達に関する悩みや思い、食事面についての心配事、病気や家庭の悩み等の相談が29件あり、保護者が孤立することなく保護者とのコミュニケーションがとれるよう登所時に門前に立ち声かけを行い、保護者との信頼関係の構築に努めました。連絡帳等を通じて、子どもの姿、悩み、つぶやきから保護者との共通理解と連携を図ることに努めました。保育士の専門性の充実に努めるため、積極的な研修参加を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は計6回の受講にとどまりました。その代替として、DVDでの研修を多く取り入れて園内研修を多く持ち、職員間の共通理解のもと保育を行いました。また、令和2年度の障がい児は5人で、きめ細やかな保育の実施のため保育士を3名加配しました。待機児童もなく、概ね目標の成果が得られたと考えます。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、共働きやひとり親家庭の増加、兄弟姉妹の数の減少等、子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境が大きく変化しているため、保護者と保育士が信頼関係を築き、子育てに関する悩みや思いを共通理解・連携し支援する必要性が増えることが予想されます。また、全国的な保育士不足から、加配が必要な障がい児の受入れに私立保育所の体制が整わず、公立に配慮が必要な子どもが集まる傾向があり、第一保育所の障がい児の増加が予想されます。障がいの病名・種類・程度により支援や方法が異なるため、きめ細やかな保育のため、保育士増員の必要性が増すと考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今後も国の動向や刻々と移り行くニーズを踏まえながら保育士の専門性の充実に努めるために研修等に参加し、積極的な支援と連携を継続していく必要があります。また、配慮が必要な子どもの増加が予想され、きめ細やかな保育のため、保育士増員の必要性が増すと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>日常生活における基本的な習慣や家庭環境に対する措置等保育を行う上で特に配慮が必要とされる児童を持つ保護者に対して、子育てに関する悩みや食事面の心配事、病気、家庭の悩み等の相談を受け付け、共通理解と連携を図ります。また、配慮が必要な子どもの人数に合わせて保育士の加配を考えていきます。保育士の専門性の充実に努めるため、研修等に積極的に参加します。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>日常生活における基本的な習慣や態度のかん養について、保育を行う上で特に家庭環境に対する配慮が必要とされる児童に対し、保育士の適正な配置を行うことにより入所児童の処遇の向上を図るとともに、加配が必要な障がい児等の受入れについても保育士の加配を行うとともに介護施設と連携を取り、身体的にサポートが必要な子どもに対しても対応できるようにし、待機児童を生まない受入れ体制の構築を図ります。また、保育士の専門性の充実に努めるため研修等に積極的に参加するとともに、園内研修を多く行い話し合うことで、より良い保育を同じ方向性のもと行い、保護者からの子育てに関する悩み等に対して相談しやすい体制を整えます。</p>					
	指標（予定）	-				
		-				
		-				
		-				
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																						
	独自の指標①		実績（値）																																																																							
	独自の指標②		実績（値）																																																																							
	独自の指標③		実績（値）																																																																							
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月まで閉所としました。6月から再開しましたが、密を避けるため、今までは設けていなかった定員を設け、2000年会館では25人、ラスパ西大和内ささゆりルームでは15人としました。国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用して感染予防のための物品を購入し、定期的な消毒や換気等、感染予防対策を行いながらの実施となりました。総利用者数は目標値を上回り、コロナ禍で子育て中の孤独感が深まることもある中、子育て中の親子が交流を行う場を提供するなどできたことで、概ね目標の成果が得られたと考えます。</p>																																																																										
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【つどいの広場参加者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R02</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>233</td> <td>205</td> <td>144</td> <td>233</td> <td>236</td> <td>250</td> <td>235</td> <td>258</td> <td>354</td> <td>312</td> <td>2,460</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>395</td> <td>339</td> <td>315</td> <td>395</td> <td>302</td> <td>441</td> <td>381</td> <td>421</td> <td>318</td> <td>366</td> <td>341</td> <td>0</td> <td>4,014</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>322</td> <td>257</td> <td>320</td> <td>387</td> <td>425</td> <td>370</td> <td>343</td> <td>359</td> <td>276</td> <td>264</td> <td>400</td> <td>426</td> <td>4,149</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>418</td> <td>325</td> <td>434</td> <td>451</td> <td>340</td> <td>461</td> <td>335</td> <td>293</td> <td>327</td> <td>333</td> <td>369</td> <td>300</td> <td>4,386</td> </tr> </tbody> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R02	0	0	233	205	144	233	236	250	235	258	354	312	2,460	R01	395	339	315	395	302	441	381	421	318	366	341	0	4,014	H30	322	257	320	387	425	370	343	359	276	264	400	426	4,149	H29	418	325	434	451	340	461	335	293	327	333	369	300	4,386
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																													
R02	0	0	233	205	144	233	236	250	235	258	354	312	2,460																																																													
R01	395	339	315	395	302	441	381	421	318	366	341	0	4,014																																																													
H30	322	257	320	387	425	370	343	359	276	264	400	426	4,149																																																													
H29	418	325	434	451	340	461	335	293	327	333	369	300	4,386																																																													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>事業の取組については一定の評価を得ているものと判断しています。社会環境の変化等により子育て支援のニーズは増加する傾向にあると考えます。</p>																																																																									
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>定員を設けていますが、定員超過のために受け入れできなかったことはほとんどありません。しかし今後定員超過が常態化することがあれば、何らかの方法を考える必要があると考えます。</p>																																																																									

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>定員超過が常態化することがあれば、2つのクラスに分けることは人的にも場所的にも難しく、2部制にするしかないと考えます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>令和3年度は、2000年会館が新型コロナウイルスワクチンの接種会場になる予定であるため、開催日時や場所に調整が必要と考えます。</p> <p>引き続き感染予防対策を行いながら、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報の提供・助言その他の援助を行います。地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを推進することを目的として2000年会館とラスパ西大和内ささゆりルームで「おひさま広場」や「サロンほけっと」等を実施します。</p>					
	指標（予定）	KPI	地域子育て支援			2,900人
		—				
—						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	独自の指標①		実績（値）																
	独自の指標②		実績（値）																
	独自の指標③		実績（値）																
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>①つどいの広場等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月まで閉所としました。6月から再開しましたが、密を避けるため、今までは設けていなかった定員を設け、2000年会館では25人、ラスパ西大和内ささゆりルームでは15人としました。国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用して感染予防のための物品を購入し、定期的な消毒や換気等の感染予防対策を行いながらの実施となりました。総利用者数は目標値を上回り、コロナ禍で子育て中の孤独感が深まることもある中、子育て中の親子が交流を行う場の提供等ができたことで、概ね目標の成果が得られたと考えます。</p> <p>②保護者の子育てや就労を支援するために上牧幼稚園で預かり保育を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止による利用自粛や1年を通じて続いたコロナ禍で利用が大幅に減少しましたが、コロナ禍で幼稚園が休園になった際にも手指消毒や定期的な換気等感染予防対策を行いながら実施し、必要とする保護者には子育て支援を図ることができたため、概ね目標の成果が得られたと考えます。（1回：200円）</p>																		
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p style="text-align: center;">【預かり保育利用回数及び上牧幼稚園園児数】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>預かり保育利用回数（回）</td> <td>1,639</td> <td>2,537</td> <td>2,240</td> <td>797</td> </tr> <tr> <td>上牧幼稚園園児数（人）</td> <td>168</td> <td>161</td> <td>155</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	R01	R02	預かり保育利用回数（回）	1,639	2,537	2,240	797	上牧幼稚園園児数（人）	168	161	155	132
	H29	H30	R01	R02															
預かり保育利用回数（回）	1,639	2,537	2,240	797															
上牧幼稚園園児数（人）	168	161	155	132															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>社会環境の変化等により子育て支援のニーズは増加する傾向にあると考えます。つどいの広場事業の取組については、一定の評価を得ているものと判断しています。核家族化・共働き世帯の増加・就労形態の多様化に伴い、上牧幼稚園における預かり保育についてもニーズは増加する考えます。</p>																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>つどいの広場等については定員を設けていますが、定員超過のために受け入れできなかったことはほとんどありません。しかし今後定員超過が常態化することがあれば、何らかの方法を考える必要があると考えます。</p> <p>また、今年度の夏季休業中の預かり保育は抽選にはなりませんでしたが、来年度以降も希望者全てを受け入れられるよう見直しが必要です。</p>																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>つどいの広場等については、定員超過が常態化することがあれば、2つのクラスに分けることは人的にも場所的にも難しく、2部制にするしかないと考えます。</p> <p>また、夏季休業中の預かり保育については、教育総務課と連携して希望者全てを受け入れられる体制を整え、また、定員を規定する規則の一部改正も行い、定員の規定をなくします。</p>					
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>令和3年度は、2000年会館が新型コロナウイルスワクチンの接種会場になる予定であるため、開催日時や場所に調整が必要と考えますが、引き続き感染予防対策を行いながら、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報の提供・助言その他の援助を行います。地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを推進することを目的として2000年会館とラスパ西大和内ささゆりルームで「おひさま広場」や「サロンほけっと」等を実施します。</p> <p>また、上牧幼稚園での預かり保育も引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら実施します。夏季休業中の預かり保育についても、希望者全てを受け入れて実施します。</p>						
	指標（予定）	KPI	地域子育て支援				2,900人
		独自	預かり保育の年間利用者数（延べ人数）				1,000人
		—					
		—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																					
	独自の指標①		実績（値）																						
	独自の指標②		実績（値）																						
	独自の指標③		実績（値）																						
●事業の分析（評価の根拠・理由）																									
○障がい者計画及び第5期障がい福祉計画（平成30年度から令和2年度）に基づくサービス提供体制 障がい福祉サービス、障がい児通所支援サービス、相談支援事業及び地域生活支援事業の支援体制について、過年度の実績をもとに課内及び西和7町行政間で検証を行い、サービス提供体制の要となる計画相談員が地域で不足している現状をふまえ、相談員の人材確保や相談技術の質の向上を図る目的として、委託相談支援事業所の協力のもと、西和7町共同で地域の計画相談員スキルアップ勉強会を2回開催しました。（オンラインによる実施） 第5期障がい福祉計画に掲げた主な目標の達成状況については、令和2年度に福祉施設から一般就労へ移行した障がい者は7名となりました。 ○第6期障がい福祉計画の策定 障がい福祉サービスについて平成30年度から令和2年度（見込）の実績や現行計画の成果目標に関する進捗状況を検証し、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする第6期障がい福祉計画を策定しました。策定には保健福祉関係者や障がいサービス事業者、当事者団体、教育機関、一般公募町民等が参画する策定委員会を4回開催し、また、町内の5つの当事者団体に対してヒアリング調査を行いながら幅広い意見を聴取し計画に反映することができました。																									
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																									
<p>【計画相談員向けのスキルアップ勉強会】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加人数</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目（オンライン開催）</td> <td>18人</td> <td>精神障がい者への相談支援について</td> </tr> <tr> <td>2回目（オンライン開催）</td> <td>15人</td> <td>身体・知的障がい者への相談支援について</td> </tr> </tbody> </table> <p>【第5次障がい福祉計画（平成30年度～令和2年度）の主な結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉施設から地域生活への移行者数</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>福祉施設から一般就労への移行者数</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>						参加人数	テーマ	1回目（オンライン開催）	18人	精神障がい者への相談支援について	2回目（オンライン開催）	15人	身体・知的障がい者への相談支援について		H30	R01	R02	福祉施設から地域生活への移行者数	0人	1人	0人	福祉施設から一般就労への移行者数	3人	5人	7人
	参加人数	テーマ																							
1回目（オンライン開催）	18人	精神障がい者への相談支援について																							
2回目（オンライン開催）	15人	身体・知的障がい者への相談支援について																							
	H30	R01	R02																						
福祉施設から地域生活への移行者数	0人	1人	0人																						
福祉施設から一般就労への移行者数	3人	5人	7人																						
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																					
	評価の根拠及び理由 障がい児者福祉サービスは、手帳所持者数等の増加や障がいの重度化・高齢化に伴い、利用者数及び利用量ともに今後も増加していくことが見込まれ、特に伸びが著しいサービスとして、未就学児の療育サービスや障がい者のグループホームが挙げられます。発達障がいや療育サービスの必要性が広く認知され、また、地域生活への移行促進が推進されている流れから、今後もニーズはますます高まっていくことが予想されます。																								
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																					
	評価の根拠及び理由 コロナ禍においてもオンライン実施で専門相談員向けスキルアップ勉強会を実施し、地域の相談支援力の向上に努めましたが、幅広いライフステージにまたがる複雑で複合化した生活課題解決には、庁内連携や専門機関とのネットワークのさらなる強化が必要です。																								

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 地域の専門相談員向けスキルアップ勉強会を継続して実施していくとともに、生き生き対策課、こども未来課、教育委員会各課等、庁内の関係各課との協議の場の設置を支援し、定期的な意見交換や情報共有を図りながらきめ細やかな相談支援の提供に努めます。				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	第6期障がい福祉計画に基づき、サービス提供体制を確保しながら、PDCAサイクルのプロセスを念頭に福祉施設からの地域移行や一般就労への移行等の成果目標に関する検証・改善を行います。西和7町共同実施で専門相談員向けスキルアップ勉強会を開催します。庁内連携や専門機関とのネットワーク強化のため、庁内連絡会議の開催を支援します。					
	指標（予定）	KPI	福祉施設の入所者の地域生活への移行者数	1人		
		KPI	障害児通所支援	110人		
	-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	独自の指標①		実績（値）													
	独自の指標②		実績（値）													
	独自の指標③		実績（値）													
●事業の分析（評価の根拠・理由）																
<p>○上牧町身体障害者協議会 頭と体の体操、歩こう会（於；メナード青山リゾート）を実施しました。</p> <p>○上牧町手をつなぐ育成会 知的・発達障がいをもつ障がい児者の保護者が気軽に相談できる「おしゃべり塾」の開催を支援し、奈良県手をつなぐ育成会のキャラバン隊による知的・発達障がい理解に関するワークショップや当事者同士の話し合いを行い、福祉課より3人がアドバイザーとして参画しました。（11/29 参加人数31人）</p> <p>○民生児童委員協議会の定例会にて聴覚障がい理解促進に係る勉強会（講師：上牧町聴覚障害者協会会長 他ろう者1人）を実施し、ろう者への合理的配慮に関する講演や、簡単な手話講座を実施しました。（2/16 参加人数30人）</p> <p>○障害者週間の取組として、上牧町立図書館にて特設コーナーを設置し障がい福祉に関する書籍や関連パンフレット等の展示を行いました。</p> <p>○障がいを持つ児童やその保護者への就学に関する円滑な支援体制の共通理解を深めるため、障がいを主管する関係部局として教育委員会の教育支援委員会に参画しました。</p> <p>○啓発ワード「知ればわかる 知れば変わる みんなが暮らしやすい社会へ」を盛り込んだマスクを本庁舎、2000年会館にて配布しました。（窓口設置）</p>																
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																
<p>【「おしゃべり塾」参加人数】</p> <table border="1"> <tr> <td>H30</td> <td>R01</td> <td>R02</td> </tr> <tr> <td>23人</td> <td>22人</td> <td>31人</td> </tr> </table> <p>【民生委員・児童委員向け障がい福祉に関する勉強会 参加人数及び内容】</p> <table border="1"> <tr> <td>R01</td> <td>R02</td> </tr> <tr> <td>34人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>・発達障がいについて ・障がい福祉の制度について</td> <td>・ろう者の生活について ・手話について</td> </tr> </table>					H30	R01	R02	23人	22人	31人	R01	R02	34人	30人	・発達障がいについて ・障がい福祉の制度について	・ろう者の生活について ・手話について
H30	R01	R02														
23人	22人	31人														
R01	R02															
34人	30人															
・発達障がいについて ・障がい福祉の制度について	・ろう者の生活について ・手話について															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障がい児者数が増加している現状を踏まえ、「障害者差別解消法」「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に基づき障がい特性への理解啓発や合理的配慮促進に係る事業を継続して実施していく必要があります。</p>															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障がい児者数の増加に伴い、地域住民や町職員への障がい理解啓発に係る取組を強化していく必要があります。</p>															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から西和7町協働による住民講座の実施を見合わせ、代替としてマスクの配布事業となりましたが、オンラインによる開催等、障がい理解啓発に資するコロナ禍において可能な代替事業を広域連携による実施を見据え検討します。また、町職員向けにはテーマを絞った啓発講座を実施します。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>○上牧町身体障害者協議会 社会見学、頭と体の体操、歩こう会の実施</p> <p>○上牧町手をつなぐ育成会 おしゃべり塾、県外体験研修会の実施</p> <p>○障がい理解促進に係る住民向け講座（講演会）の実施（西和7町共同実施）</p> <p>○町職員向け聴覚障がいや手話に関する講座の実施</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の動向を注視しながら、規模の縮小や代替事業による実施も勘案いたします。</p>					
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																						
	独自の指標①	地域活動支援センター利用登録者	実績（値）	12人																				
	独自の指標②		実績（値）																					
	独自の指標③		実績（値）																					
●事業の分析（評価の根拠・理由）																								
地域活動支援センターは、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の方に、創作活動又は生産活動等の機会を提供し、地域生活の支援を行います。 令和2年度に利用者が1人増加し計12人となりました。 令和2年度末時点の利用登録者 ・地域活動支援センター「まーぶる」（斑鳩町） 10人 ・地域活動支援センター「なっつ」（大和高田市） 1人 ・地域活動支援センター「コスモールいこま」（生駒市） 1人 上牧町第5期障がい福祉計画の見込量である9人を上回り、目標値を達成できました。当事者やその家族からの日中活動の場に関する相談について利用を提案し、対応できたことが要因であると考えられます。																								
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																								
【地域活動支援センター利用登録者数】（単位：人） <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まーぶる（斑鳩町）</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>なっつ（大和高田市）</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コスモールいこま（生駒市）</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>						H30	R01	R02	まーぶる（斑鳩町）	10	10	10	なっつ（大和高田市）	0	1	1	コスモールいこま（生駒市）	0	0	1	合計	10	11	12
	H30	R01	R02																					
まーぶる（斑鳩町）	10	10	10																					
なっつ（大和高田市）	0	1	1																					
コスモールいこま（生駒市）	0	0	1																					
合計	10	11	12																					
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																						
	評価の根拠及び理由 近年の精神障がい者手帳所持者数の増加や、引きこもり問題を勘案すると、当事者同士で交流する日中活動の場として地域活動支援センターのニーズは高いと考えられます。																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																						
	評価の根拠及び理由 日中活動の場としての地域活動支援センターは、当事者の社会参加の中心課題である就労への足掛かりとなる役割があります。今後も当事者やその家族がもつ細かなニーズを汲み取り、解決に向けた手段として、地域生活支援センターの利用につなげることも想定しながら相談支援を行います。																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 地域活動支援センターの事業所や計画相談員とも共有を図りながら、必要な方を円滑に通所利用に繋げられるよう連携強化に努めます。相談支援に関する勉強会等を実施する際、センターの利用促進に係る周知を積極的に行います。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	地域活動支援センターの利用支援事業を継続します。 令和3年度実施する予定である専門相談員の人材確保とスキルアップを目的とした勉強会の中で地域活動支援センターの周知と利用促進に係る内容を盛り込み意見交換を行います。				
	指標（予定）	独自	地域活動支援センター利用登録者		13人
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																											
	独自の指標①	手話通訳養成講座受講者の人数		実績（値） 6人																											
	独自の指標②			実績（値）																											
	独自の指標③			実績（値）																											
●事業の分析（評価の根拠・理由）																															
<p>令和2年度の手話通訳者の派遣回数は月間平均7件(延べ89件・実人数5人)で、第5期障がい福祉計画の見込み量である月間平均11件を下回りました。</p> <p>要約筆記者派遣は、大阪府にある大学のスクーリング受講に伴う申請がありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により府内に要約筆記者を派遣することが出来ない状況となりました。</p> <p>手話養成講座については入門編を開講し、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、定員を10人に縮小したところ、計6人が受講し修了となりました。</p> <p>ヘルプマーク・ヘルプカードの周知活動としましては、障害者週間の期間中に町立図書館にてヘルプマーク等の展示、また福祉課窓口での見本の展示、ポスターの掲示等を行い、計33人の申請につながりました。</p>																															
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																															
<table border="1"> <tr> <th colspan="3">【手話通訳者の派遣回数（回）】</th> <th colspan="3">【ヘルプマーク申請者数（人）】</th> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>R01</td> <td>R02</td> <td>H30</td> <td>R01</td> <td>R02</td> </tr> <tr> <td>141</td> <td>156</td> <td>89</td> <td>23</td> <td>49</td> <td>33</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">【手話養成講座受講者数（人）】</th> </tr> <tr> <td>H30 (入門編)</td> <td>R01 (基礎編)</td> <td>R02 (入門編)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> </table>					【手話通訳者の派遣回数（回）】			【ヘルプマーク申請者数（人）】			H30	R01	R02	H30	R01	R02	141	156	89	23	49	33	【手話養成講座受講者数（人）】			H30 (入門編)	R01 (基礎編)	R02 (入門編)	5	7	6
【手話通訳者の派遣回数（回）】			【ヘルプマーク申請者数（人）】																												
H30	R01	R02	H30	R01	R02																										
141	156	89	23	49	33																										
【手話養成講座受講者数（人）】																															
H30 (入門編)	R01 (基礎編)	R02 (入門編)																													
5	7	6																													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																											
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「奈良県手話言語条例」（平成29年4月施行）や「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」（平成28年4月施行）、「まほろばあいサポート運動」等の周知により、障がい者の増加に伴う合理的配慮推進の動きはますます高まっていくと考えられます。</p>																														
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																											
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ろう者には筆談や、文字を読むことが困難な方もおられ、高齢化に伴い必要となる福祉サービスの制度や生活全般の相談をより柔軟に対応するための施策の検討が必要です。</p>																														

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 上牧町手話サークルや手話養成講座を受託し、奈良県の登録手話通訳者とのネットワークを構築している町社会福祉協議会と協働して手話通訳者窓口設置等の事業について検討します。				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	手話通訳者・要約筆記者派遣事業を継続します。 手話養成講座(基礎編)を開講します。 手話通訳者の窓口設置に係る施策の検討を行います。 ※手話養成講座については、今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視するとともに、定員規模の縮小等の措置を講じることも検討しながら実施する予定です。					
	指標（予定）	独自	手話養成講座受講者の人数			10人
		—				
		—				
		—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった														
	独自の指標①		実績（値）															
	独自の指標②		実績（値）															
	独自の指標③		実績（値）															
●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
<p>「令和2年度奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修」（2/17）に福祉課職員1名が参加し、虐待に関する知識や対応手順等の習得に努め、課内で情報共有を行いました。</p> <p>上牧町が障がい者虐待に認定した事案は発生いたしませんでしたが、事業所より2件の通報があり、担当市町村と情報共有を行いながら迅速に対応いたしました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、西和7町障害者等支援協議会の専門部会「人権・施策部会」による「障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に関する講演会は中止しました。</p>																		
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																		
<p>【上牧町障がい者虐待認定件数（件）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【人権・施策部会による勉強会参加人数（人）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40</td> <td>29</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R01	R02	1	1	0	0	H30	R01	R02	40	29	中止
H29	H30	R01	R02															
1	1	0	0															
H30	R01	R02																
40	29	中止																
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障害者手帳保持者の増加や、障がい者差別・虐待がより広く周知されていくとともに、相談や通報も今後ますます増えていくことが予想されます。関係機関とのさらなるネットワークの強化が必要です。</p>																	
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障がい者虐待が周知されるとともに、虐待事案の相談・通報は今後も発生していくことが予想されますが、被虐待者を一時的に保護する1つの手段である短期入所等を行う事業所が地域で不足している現状があります。</p>																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	令和3年度奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修へ参加します。 奈良県障害者相談窓口等との連携を継続します。 人権施策部会による障がい者虐待防止や権利擁護に係る協議を継続します。 地域生活支援拠点の整備（緊急一時保護事業）に係る協議を継続します。 （人権施策部会や地域生活支援拠点に係る協議については、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、オンラインによる会議の開催を見据え実施します。）				
	指標（予定）	-			
		-			
		-			
		-			
		-			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																									
	独自の指標①		実績（値）																										
	独自の指標②		実績（値）																										
	独自の指標③		実績（値）																										
●事業の分析（評価の根拠・理由）																													
<p>小地域ネットワーク活動をしている地域数は、前年度と同数の14地域となりました。活動内容としては、新型コロナウイルス感染症により公共施設が利用中止となった期間を除いて、毎月1回連絡会を開催し情報共有を行いました。例年、各地域に公民館や老人憩いの家を拠点として行っているサロン活動や季節ごとのイベントは、感染防止のため中止とし、見守り活動等の訪問を中心とした活動を実施しました。</p> <p>上牧町ボランティア連絡協議会加入者数は、令和2年度末現在で358人となり、目標値である366人には及びませんでした。最終目標値である270人は大きく上回っています。</p> <p>毎年2000年会館などで開講されている「かんまきタウンカレッジ」は新型コロナウイルス感染防止のため未実施となりました。</p> <p>次期計画策定に向けて実施した、住民アンケート調査、団体ヒアリング調査、住民座談会の開催、関係各課及び社会福祉協議会の代表による「庁内連絡会議」の開催により、地域福祉に関するニーズ調査を行いました。その結果をもとに、計4回開催した「上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会」にて課題の洗い出しや今後の目標、施策の展開について検討しました。</p>																													
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																													
<p>【小地域ネットワークの状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小地域ネットワークの組織化（ヶ所）</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>（組織化率）</td> <td>(54%)</td> <td>(58%)</td> <td>(58%)</td> <td>(58%)</td> </tr> <tr> <td>連絡会の開催（回）</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>住民座談会の開催（回）</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	R01	R02	小地域ネットワークの組織化（ヶ所）	13	14	14	14	（組織化率）	(54%)	(58%)	(58%)	(58%)	連絡会の開催（回）	12	12	12	10	住民座談会の開催（回）	1	2	0	2
	H29	H30	R01	R02																									
小地域ネットワークの組織化（ヶ所）	13	14	14	14																									
（組織化率）	(54%)	(58%)	(58%)	(58%)																									
連絡会の開催（回）	12	12	12	10																									
住民座談会の開催（回）	1	2	0	2																									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>住民座談会において、「近隣住民とのあいさつや声かけ、顔の見える関係が減ってきている」という意見や「団体間の連携強化」を望む声が多くありました。また、少子高齢化や虐待、孤独死、生活困窮など地域における問題も年々複合化・複雑化していることから、地域住民同士のつながりや地域住民・行政・社会福祉協議会の連携体制の構築が強く求められています。</p>																												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>住民座談会において、「近隣住民とのあいさつや声掛けが減ってきている」という意見があり、地域のつながりが希薄化への対応が課題と考えられます。また、各種団体同士の連携強化を望む声も多く、団体や地区の枠を超えて集まり、情報交換ができるような場や機会が必要とされています。</p>																												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>地域のつながりの希薄化への対応として、地域福祉の意義や必要性について住民に広く周知を行い、地域で支えあう意識づくりを行います。また、住民が地域に参画し福祉活動を行える場として考えられる、小地域ネットワーク活動や各種ボランティア活動に対する支援として、2000年会館やコミュニティセンター、老人憩の家といった活動拠点の整備・提供を行います。</p> <p>各種団体の連携強化に向けては、令和3年度からの次期計画に社会福祉協議会の新たな取組として記載する「気になる会議の開催」により、住民や多様な福祉団体、専門職等が地区単位の地域課題について一緒に考える場の開催を支援します。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>令和3年度からの新たな計画となる「上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画」において基本理念に掲げる「人と人とが手を取り合い、支え合い安心して暮らせるまちづくり」を推進します。</p> <p>地域で支えあう意識づくりとして、学校における福祉教育や人権教育を推進します。また、地域団体間の交流促進の支援や活動拠点の整備・提供により、小地域ネットワークや上牧町ボランティア連絡協議会等が、地域のボランティア活動をしやすい環境づくりを推進します。</p> <p>「気になる会議」の開催を支援し、住民や福祉関係者、専門家などが課題解決に向けて議論する場を設けることで、地域で互いに助け合う意識づくりを育むだけでなく、住民や団体間の交流促進を目指します。</p> <p>小地域ネットワーク活動の普及に向けて、各地区で行われている活動をSNSで紹介し、幅広い世代に活動内容を知っていたくよう周知活動を行います。また、社会福祉協議会と協働し、ボランティア活動者の中から未設置地区において活動の中心となりうる人材の発掘、および自治会や老人会などその地域の活動者に向けた住民座談会の開催を行います。</p>					
	指標（予定）	KPI	小地域ネットワーク数			15地域
		KPI	上牧町ボランティア連絡協議会会員数			366人
		-				
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①			実績（値）
	独自の指標②			実績（値）
	独自の指標③			実績（値）
達成度	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	地域福祉計画及び地域福祉活動計画の一体的な策定に向けて、一般公募町民や学識経験者、関係機関や各種団体の代表者による策定委員会を計4回開催しました。また、地域福祉に関する意識や生活課題をより明確にするため、無作為抽出した2,000人の町民を対象としたアンケート調査や地域福祉に関わる29の団体へのヒアリング調査や住民座談会の開催しました。加えて、高齢者・障がい者・児童及び生活困窮者等、世代横断の複雑化した福祉課題の洗い出しを行うため、関係各課の代表による「庁内連絡会議」を開催。令和3年2月8日～22日には、幅広く意見を聴取するため、素案に対してパブリックコメントを実施しました。			
	地域福祉計画の推進			
	①地域の見守り体制の強化 地域の活動者である民生児童委員と行政部局がさらなる連携体制を構築するため、民生児童委員協議会の会議において、福祉課や地域包括支援センター、教育委員会の職員が、福祉制度や見守りに係る町の事業についての説明会を行い、情報共有を図りました。【福祉課】			
	要保護児童対策協議会を通じて、要保護児童やその家族支援のあり方について、こども支援課・福祉課間で情報共有を行うとともに、実務者会議において、児童相談所や西和警察署、教育委員会等の関係機関との合意形成を図りました。【こども支援課】			
	取組内容に地域の見守り活動を含む「上牧町と日本郵便株式会社 包括的連携に関する協定書」を令和3年3月24日に町と香芝郵便局、西大和まきは郵便局、西大和片岡台郵便局との間で締結しました。【政策調整課】			
	上牧町で安心して暮らすことができることを目指し、「上牧町地域見守りネットワークに関する協定書」を社会福祉協議会や配送会社、新聞販売店、ライフライン会社など町内で活動されている計11団体と締結しました。【福祉課】			
	②地域での交流機会の充実 子育て世代の交流である「つといの広場」事業を実施しました。（4月～5月は公共施設の利用中止に伴い未実施）【社会福祉協議会】			
	③安心して福祉サービスが利用できる仕組みづくり 子育て支援に関する住民向けガイドブックを作成しました。【こども支援課】			
	④地域の相談・支援体制の充実 平成30年の機構改革で高齢・障がい・生活困窮・こども担当課及び社会福祉協議会が2000年会館に集約されたことにより、各課横断的な問題や制度の狭間で困窮している地域住民への支援に関して、適宜各担当課の職員が集まってチームとなり、情報共有や解決に向けた手法の協議を迅速かつ円滑に進められる体制を継続して構築しました。【福祉課 生き活き対策課 こども支援課】			
⑤地域ぐるみでの防犯・防災の推進 民生児童委員の活動として、見守り対象者に配布したはがきに特殊詐欺について記載することで注意喚起を行いました。【福祉課】				
⑥あらゆる虐待の防止と権利擁護の推進 民生児童委員向けに成年後見制度に関する研修会を実施しました。【福祉課 生き活き対策課】 権利擁護支援センターなつぼしに委託し、成年後見制度利用促進事業を実施し、後見制度に係る相談支援や利用申請手続きの支援を行いました。【福祉課】				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 少子高齢化や虐待、孤独死、生活困窮等の地域における問題は、年々複合化・複雑化しており、地域住民・行政・専門職が一体となって地域の課題に取り組む礎である地域福祉計画は、地域共生社会の構築のため、強く求められるものと考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 近年、地域の課題が複合化・多様化しており、庁内連絡会議においても、そのような事例が増えているという意見がありました。複合化・多様化する課題に対しては、複数の担当課で対応することも多く、地域住民や福祉団体、行政、社会福祉協議会といった福祉に関する活動者や相談窓口の横断的な連携強化が求められます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 町福祉部局及び社会福祉協議会の代表が参加する「庁内連絡会議」を開催し、複合化・多様化する地域課題への対応や相談窓口の連携強化について協議します。 住民や多様な福祉団体、専門職などが地区単位の地域課題について一緒に考える場となる「気になる会議」の開催を支援することにより、地域の見守り体制の強化を図ります。				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	令和3年度からの新たな計画となる「上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画」において基本理念である「人と人とが手を取り合い、支え合い安心して暮らせるまちづくり」を実現させるため、基本目標に掲げた「地域で顔の見える関係づくり」「だれもが地域に参加できる仕組みづくり」「住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり」を推進します。 庁内連絡会議にて、複合化・多様化する地域課題への対応や相談窓口の連携強化について協議を行い、「包括的な相談支援体制の充実」を目指します。 「気になる会議」の開催を支援し、住民や福祉関係者、専門家などが課題解決に向けて議論する場を設けることで、地域で互いに助け合う意識づくりを育むだけでなく、住民や団体間の交流促進を目指します。					
	指標（予定）	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																												
	独自の指標①		実績（値）																													
	独自の指標②		実績（値）																													
	独自の指標③		実績（値）																													
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会においては、団体代表者の交代等で女性委員の割合が低下しましたが、成果指標である「上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合」については前年度実績、目標値を上回り、「審議会等への女性委員登用率」についても、目標値は下回ったものの、前年度実績を上回る結果となりました。</p> <p>また、子育てママ就業支援事業については、臨時休業を除き予定通り継続できていますが、令和2年度の事業拠点における年間延べ雇用者数は26名（対前年比+6名）となっており、目標人数の50人には届きませんでしたが、新型コロナ関連の受注などもあり、昨年度より雇用が増えました。</p>																																
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【「審議会等への女性委員登用率」及び「上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合」】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審議会等への女性委員登用率（%）</td> <td>32.9</td> <td>25.0</td> <td>32.9</td> <td>33.3</td> <td>30.5</td> <td>30.9</td> </tr> <tr> <td>上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合（%）</td> <td>24.4</td> <td>26.6</td> <td>30.3</td> <td>39.3</td> <td>39.0</td> <td>39.5</td> </tr> <tr> <td>【参考】 上牧町役場職員に占める女性職員の割合（%）</td> <td>42.1</td> <td>42.4</td> <td>42.0</td> <td>44.1</td> <td>43.1</td> <td>43.1</td> </tr> </tbody> </table>						H27	H28	H29	H30	R01	R02	審議会等への女性委員登用率（%）	32.9	25.0	32.9	33.3	30.5	30.9	上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合（%）	24.4	26.6	30.3	39.3	39.0	39.5	【参考】 上牧町役場職員に占める女性職員の割合（%）	42.1	42.4	42.0	44.1	43.1	43.1
	H27	H28	H29	H30	R01	R02																										
審議会等への女性委員登用率（%）	32.9	25.0	32.9	33.3	30.5	30.9																										
上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合（%）	24.4	26.6	30.3	39.3	39.0	39.5																										
【参考】 上牧町役場職員に占める女性職員の割合（%）	42.1	42.4	42.0	44.1	43.1	43.1																										
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>男女共同参画社会を実現することは、安心と喜びを持って子どもを産み育てることのできる社会の実現につながるものであり、解決すべき課題となっている人口減少、少子化対策にも有効であると考えられ、その取組として、行政への参画機会の創出や就業の場の整備・確保といった取組に対するニーズは増加してくるものと考えます。</p>																															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>子育てママ就業支援事業については、将来的な展望を見すえ、成果を高めるための見直しも必要であると考えますが、先駆的な取組であり、調査・研究にある程度時間を要すると考えます。</p>																															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>女性が自己実現に向けて希望を叶えることのできるまちとして、女性の参画機会の創出や社会復帰に向けた支援については、現在の取組に加え、参画機会の拡大に向けた事例の研究や地域関係者との連携機会を設けるなど、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>女性委員の割合を2021年の目標である35%近くになるように、女性委員の選任を積極的に検討していきます。また、「上牧町子育てママ就業支援事業」についても、引き続き、民間事業者と連携し、事業拠点の運営を継続していく予定です。また、経過を観察しながら、住民ニーズを把握し、事業を通じて子育て環境の充実に努めていきます。</p>					
	指標（予定）	KPI	審議会等への女性委員の割合			35.0%
		KPI	上牧町役場における管理的地位にある職員に占める女性職員の割合			39.0%
		-				
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>男女共同参画週間において、上牧町では6月23日から6月28日の期間中、上牧町立図書館の一角を利用して関係ポスターや図書を展示することにより、男女共同参画の理念について理解を深める啓発活動を行うことができました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、男女共同参画に関する冊子やパンフレット等の配布を取りやめるなど例年より規模を縮小して実施しました。</p> <p>また、ペガサスフェスタにて、人権啓発コーナーの一角を利用したチラシ等での啓発活動と、国の女性就業支援全国展開事業を利用したセミナーを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。</p> <p>その他、法務局が実施している、職場でのセクハラ、ストーカー行為等の女性の人権に関わる問題全般についての相談を行う全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間について広報誌に掲載したほか、国が実施している、性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」についてLINEやFacebookにて広報するなど、コロナ禍で啓発活動が制限される中でも、SNS等も活用しながら啓発活動に努めました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
<p>令和2年度地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（内閣府男女共同参画局推進課）から抜粋 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会等における女性委員の比率（令和2年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上牧町：30.7%（前年度比0.2%増） 県内市町村平均：23.1%（前年度比0.1%増） 市町村の女性公務員の状況（令和2年度） ・管理職（部局長・次長・課長相当職）の女性比率 上牧町：14.3%（前年度比4.3%増） 県内市町村平均：21.4%（前年度比0.1%減） ・課長補佐相当職の女性比率 上牧町：51.9%（前年度比13.4%増） 県内市町村平均：35.6%（前年度比2.1%増） ・係長相当職の女性比率 上牧町：45.5%（前年度比10.1%減） 県内市町村平均：36.3%（前年度比0.6%減） 				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>女性の社会進出が進むことに伴い、様々な女性に関する人権問題が発生しており、内閣府の世論調査（令和元年9月調査）でも「社会全体における男女の地位の平等感」という質問に対して、約78%の女性が「男性の方が優遇されている」と考えています。これらの現状や、男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事が全国的に実施されていることもあり、男女共同参画社会の形成に対するニーズは高まってきています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>このように男女の平等が求められていることから、現状のニーズに沿った啓発活動を行う必要があり、実施する場合も、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を計画する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>県や他市町村で行われている啓発活動、行事等を参考に、必要に応じて実施場所・期間の拡大、図書や冊子の展示以外の啓発方法の検討、現状のニーズに沿った内容の講座やセミナーの実施等を行います。</p> <p>また、実施する場合は、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策をしながら行います。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>男女共同参画週間に令和2年度の実施内容を継承し、啓発活動を行います。また、県や他市町村を参考に新たな啓発活動の検討にも努めます。また、令和2年度に中止となった事業につきましても、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策をしながら行います。</p>					
指標（予定）	-					
	-					
	-					
	-					
	-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>男女共同参画週間において、上牧町では6月23日から6月28日の期間中、上牧町立図書館の一角を利用して関係ポスターや図書を展示することにより、男女共同参画の理念について理解を深める啓発活動を行うことができました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、男女共同参画に関する冊子やパンフレット等の配布を取りやめるなど、例年より規模を縮小して実施しました。</p> <p>また、ベガスフェスタにて、人権啓発コーナーの一角を利用したチラシ等での啓発活動と国の女性就業支援全国展開事業を利用したセミナーを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。</p> <p>その他、法務局が実施している、配偶者やパートナーからのDV等の女性の人権に関わる問題全般についての相談を行う全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間について広報誌に掲載したほか、国が実施している、性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」についてLINEやFacebookにて広報するなど、コロナ禍で啓発活動が制限される中でも、SNS等も活用しながら啓発活動に努めました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>女性の社会進出が進んでいるにも関わらず、内閣府の世論調査（令和元年9月調査）では約40%の男性が「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と考えており、男性が家事をする時間は世界的にもかなり低い水準です。</p> <p>さらに配偶者やパートナーからのDVに関しては、全国の配偶者暴力相談支援センターへの相談件数は年々増え続けて、令和元年度時点でも年間約12万件（前年度比約5,000件増）を超えており、その上、令和2年度はコロナ禍の影響によるストレス・生活不安から、4～11月時点での集計だけでも相談件数は13万件を超えているとの報告があります。</p> <p>これらの現状や、男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事が全国的に実施されていることもあり、男女共同参画社会の形成に対するニーズは高まってきています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>このように男女の平等が求められていることから、現状のニーズに沿った啓発活動を行う必要があり、実施する場合も、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を計画する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>県や他市町村で行われている啓発活動、行事等を参考に、必要に応じて実施場所・期間の拡大、図書や冊子の展示以外の啓発方法の検討、現状のニーズに沿った内容の講座やセミナーの実施等を行います。</p> <p>また、実施する場合は、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策をしながら行います。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	男女共同参画週間に令和2年度の実施内容を継承し、啓発活動を行います。また、県や他市町村を参考にして新たな啓発活動の検討にも努めます。また、令和2年度に中止となった事業につきましても、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策をしながら行います。					
	指標（予定）	-				
		-				
		-				
		-				
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>前年度に引き続き、県が作成した男女共同参画策定マニュアルや、他の奈良県内の男女共同参画計画をもとに、当町の現状や課題分析をするために必要なデータ、そのデータで判明した課題への対応等の情報を得るために、各市町村の計画書の精査を行いました。また、県女性センターが主催する研修や、女性の人権に関する人権問題の研修等に業務担当外の職員も参加する予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修等が中止となりました。しかし、感染症対策を行いながら実施されたいくつかの研修には参加したほか、オンラインで開催された女性の人権に関する研修を課員で閲覧するなど、コロナ禍で研修等の機会が少なる中でも、職員の男女共同参画に対する理解を深めました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事が全国的に実施されています。上牧町でも、男女が共に様々な役割に参加し、一人ひとりが豊かな人生となるよう男女共同参画社会の実現に向け、啓発活動を強化していく必要があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>引き続き、県が作成した男女共同参画策定マニュアルや他の奈良県内の男女共同参画計画をもとに、計画策定に必要な情報の収集、分析を行うことに加えて、計画策定に必要な審議会等の規則の制定や、計画書の作成方法の検討等を行います。研修等については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、担当課全員の意識向上のために、業務担当者のみならず、業務担当外の職員も引き続き参加できるよう対応します。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 令和4年度の計画策定に向けて、計画策定に必要な情報の収集、分析を行うことに加えて、計画策定に必要な審議会等の規則の制定や、計画書の作成方法の検討等を行います。研修等については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、担当課全員の意識向上のために、業務担当者のみならず、業務担当外の職員も引き続き参加できるよう対応するほか、今後は役場職員全体が参加する職員研修等についても検討します。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	令和4年度の計画策定に向けて、計画策定に必要な情報の収集、分析を行うことに加えて、計画策定に必要な審議会等の規則の制定や、計画書の作成方法の検討等を行います。研修等については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、担当課全員の意識向上のために、業務担当者のみならず、業務担当外の職員も引き続き参加できるよう対応します。				
	指標（予定）	-			
		-			
		-			
		-			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止したために、町民集会としての成果は得られませんでした。当初予定していた講師、朝日放送アナウンサー三代澤康司さんについては、1年先に延期して依頼することにしました。町民集会に代わる取組として、啓発パンフレットを社会教育課の講座等で配布したり、人権教育関係の研修会の紹介を広報で案内したりしました。奈良県が行っている「人権メッセージ」募集を町民に広報するなどにも取り組みました。</p> <p>また、「コロナ差別」の問題について、町ホームページに「新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について」を掲載したり、広報に係ったメッセージを載せるなど啓発に取り組みました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>平成28年度人権三法（障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）が施行され、その後、人権に関係した条例等、法整備が年々進められてきており、差別をなくすための施策と行動をさらに充実させなければならない責任が増してきたと考えられます。インターネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動、庁舎の窓口への「同和地区問い合わせ」等に加えて、昨年度からは「コロナ差別」も大きな社会問題となってきており、それに対応した取組や組織づくりが求められています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町民集会については、新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、広い会場を確保したり、開催条件を工夫するなどして実施の方向を検討する必要があります。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない場合にあっても、情勢に応じてできることを探っていくことが必要です。また、インターネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動の問題については、情報収集を積極的に行うことや研修の機会を求めていく必要があると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 町民集会は、2000年会館からペガサスホールに会場を変更する、人数制限を設けるなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全に行い計画します。 「差別書き込みに対応するインターネットステーションの取組」の見識を深めたり、県の組織と連携したりするなどの取組を計画したいと考えています。「同和地区問い合わせ」等に対する窓口対応や、差別事象への取組について、職員の人権意識を高める研修を企画します。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	7月9日に元朝日放送アナウンサー三代澤康司さんを招いて差別をなくす町民集会「人生は、ドッキリ！ハッキリ！～ラジオから見える人とのつながり～」を開催します。ペガサスホールを会場とし、申込制で人数制限を設け、検温、座席番号報告等、新型コロナウイルスの感染症予防対策を万全にして実施します。 また、啓発パンフレットの配布や、広報による啓発、「人権メッセージ」募集を町民に募集するなど取組を広げます。差別事象対応マニュアル作成や、差別事象対応研修の実施に向けて取り組みます。				
	指標（予定）	KPI	差別をなくす強調月間・上牧町民集会の参加者数	200人	
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった									
	独自の指標①		実績（値）										
	独自の指標②		実績（値）										
	独自の指標③		実績（値）										
●事業の分析（評価の根拠・理由）													
<p>人権啓発ポスター・標語ともに、年度当初の取組ができなかったために、2学期以降に各校で取り組んでいただくよう変更して依頼しました。締切を年度末とし、次年度、中央公民館にポスターを掲示、県への代表作品も4月に出品することにしました。</p> <p>また、学校への依頼だけでなく、広報かんまきに掲載し、町民へポスターや標語を募集するなど、新しい取組を展開しました。</p> <p>町内数か所にある町の広告塔（看板）の塗替えに伴って、役場前駐車場の1面にH28年上牧中学校1年生の水谷奈央子さんの啓発標語「『ありがとう』言葉ひとつで笑顔咲く」を表示しました。また、昨年提出された上牧小学校6年生稲田稀さんの啓発ポスターを広報に掲載しました。</p>													
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。													
<table border="1"> <tr> <td>人権啓発ポスター</td> <td>小学4年生141点</td> <td>県提出2点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6年生161点</td> <td>県提出2点</td> </tr> <tr> <td>人権標語</td> <td>中学1年生190点</td> <td>県提出6点</td> </tr> </table>					人権啓発ポスター	小学4年生141点	県提出2点		6年生161点	県提出2点	人権標語	中学1年生190点	県提出6点
人権啓発ポスター	小学4年生141点	県提出2点											
	6年生161点	県提出2点											
人権標語	中学1年生190点	県提出6点											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>学校現場における人権侵害であるいじめや不登校等の問題についても、日々メディアで取り上げられています。また、「コロナ差別」やSNS上の誹謗中傷等、新しい人権侵害の課題も大きな社会問題となってきていることから、ニーズが増加していると考えます。</p>												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>人権啓発ポスター・標語の募集については、奈良県が今年度5月募集（R2）から4月募集（R3）に変更した（新型コロナウイルス感染症対応の関係で）ばかりですが、令和4年度募集については、さらに6月募集へと変更される予定です。それに伴って、町での締切も変更するかどうか検討しなければなりません。新型コロナウイルス感染症の影響で休校になったりすることを考えるならば、前年度に作品を仕上げておくのが安全です。新年度に取組を始めると、締切に間に合わないことが起こる危険があります。作品に取り組む力量は新年度の方が良いと思われます。また、学年表示も7月のポスター掲示の時に「現在の学年」表示で発表できるという利点もあります。</p>												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 作品募集は、奈良県から募集要項が出される8月に合わせて、各校へ依頼をします。取り組む時期は各校の実情に合わせて、決定してもらうこととし、町での締切は5月末としたいと思います。					
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	各小学校に人権啓発ポスター、各中学校に人権啓発標語の募集を依頼し（令和3年8月）、令和4年5月末に集約します。中央公民館へのポスター展示（7月実施予定）は、令和3年3月末に提出されたポスターを展示します。 広報かんまきに掲載し、町民へ人権ポスターや標語を募集するなどの取組を展開します。提出された作品の活用について、人権関係集会の冊子への掲載等を実施していきたいと考えます。						
	指標（予定）	-					
		-					
		-					
		-					
		-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	独自の指標①		実績（値）													
	独自の指標②		実績（値）													
	独自の指標③		実績（値）													
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度は長崎に焦点をあてた平和祈念資料展を8月1日から15日まで開催し、285人の方に来場いただきました。今回は長崎原爆資料館（長崎市）の協力で原爆投下直後の写真41点を展示しました。また、アンケート調査では「戦争の記憶を引き継いでいくことで戦争の悲惨さ、平和の尊さを認識できると思います」（40代男性）「戦争は人を傷つける。戦争をしてはいけない。長崎県と広島県のかんしみを忘れません」（12歳男性）「とても胸がしめつけられました。ほんとうにこんな事があったかと思うと信じられない気持ちです。二度とこんな事があってはいけません」（60歳女性）等の意見が多数を占め、平和への意識が高まったと認識しており、意識啓発として目標の成果が得られたと考えます。</p>																
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>																
<p>【平和祈念資料展来場者数（人）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来場者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>281</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>285</td> </tr> </tbody> </table>					年度	来場者数（人）	H28	180	H29	150	H30	183	R01	281	R02	285
年度	来場者数（人）															
H28	180															
H29	150															
H30	183															
R01	281															
R02	285															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>北朝鮮による核実験の実施や中国による尖閣諸島領海侵入により、日本国家の安全や平和が脅かされつつあり、関心も高まっていると考えます。</p>															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>事業そのものについては見直しの余地はないと考えますが、毎年資料展に来場されるのはリピーターの方が多いため新規の来場者を増やす工夫が必要であると考えます。積極的なプレスリリースを含め、周知方法や運営、プログラム等については、今後他の市町村の事例等も参考にしながら改善を図ります。</p>															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>戦争という悲劇を繰り返さないための啓発活動としても重要であるとともに、命の尊さや残された者の悲しみを認識することで、ひいては犯罪や非行、いじめ等の防止にもつながると考えますので、今後も継続して取り組んでいくとともに、特に若年層の来場者数を増やすための方策について検討していきたいと考えます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>令和3年度も引き続き、8月にベガサスホールにおいて「沖縄戦とひめゆり学徒隊」に焦点をあてた平和祈念資料展を開催します。開催に際しては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入場者の手指消毒の徹底、検温、場合によっては入場制限を行うなどの対策を講じた上で開催します。また、報道各社の後援を取りつけ、集客につなげます。</p>					
	指標（予定）	KPI	平和祈念資料展の来場者数			280人
		-				
		-				
		-				